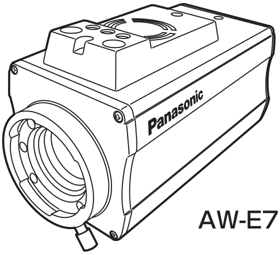
Panasonic®

取扱説明書

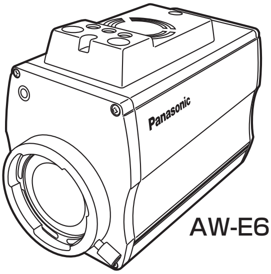
工事説明付き

コンバーチブルカメラ

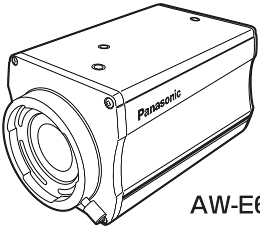
品番 AW-E750/AW-E655/
AW-E650/AW-E350



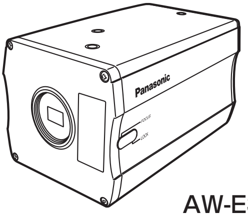
AW-E750



AW-E655



AW-E650



AW-E350

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●**ご使用前に「安全上のご注意」（3 ～ 5ページ）を必ずお読みください。**
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

FJ1003MS11012 -FJ
Printed in Japan
VQT0G70-6

もくじ

安全上のご注意 **3**
概要 **6**
付属品 **7**
特長 **8**
使用上のお願い **9**
設置上のお願い **11**
各部の名前とはたらき **14**

取り付けかた **19**
■レンズの取り付けかた 19
■カメラ取付台（回転台、三脚など）の取り付けかた 20
■回転台、三脚、カメラ取付金具などへの取り付けかた 21

システムの組みかた（接続） **26**
■コンポジットビデオ入力端子を持つ機器の接続 26
■リモートコントロールユニット（RCU）の接続 27
■リモートオペレーションパネル（ROP）の接続 28
■複数台のカメラの接続（外部同期のかけかた） 29
■コンピューターコントロール時の接続 30
■回転台システムの接続 30

使用モードの選択 **31**
■使用モードの選択 31
■選択のしかた 32

操作の手順 **33**

調整のしかた **34**
■フランジバック調整 34
■レンズ内のアイリスゲインボリューム調整 35
■ホワイトバランス調整 35
■ブラックバランス調整 38
■黒レベル（トータルペデスタル）調整 39
■ゲンロック調整 40

メニュー項目の設定・変更 **44**
■メニュー項目の設定 44

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更 **46**

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更 **56**

オプションカードの設定・変更 **72**

初期設定に戻すには **74**
■初期設定に戻すには 74
■初期設定値（出荷時設定値） 75

外形寸法図 **77**
定格 **79**
保証とアフターサービス **81**

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

🛇 🛇	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

工事は販売店に依頼する

必ず守る

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

●必ず販売店へ依頼してください。

異物を入れない

禁止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

●ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

●修理や点検は販売店へご連絡ください。

定期的に点検する

必ず守る

金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

●点検は販売店へご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

必ず守る

煙が出る、臭いがする、水や異物が入った、落として破損したなど、火災の原因となります。

●ただちに電源を切って、販売店にご連絡ください。

落下防止対策を施す

必ず守る

落下によるけがの原因となります。

● 15 ページ「❹ カメラ取付用ねじ穴」および 21 ページ「取り付けかた」を参照してください。

ねじや固定機構はしっかりと締め付ける

必ず守る

締め付けが緩むと、落下などでけがの原因となります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠ 警告

屋外、湿気やほこりの多い場所に設置しない

禁止

火災や感電の原因となります。

・通風口をふさがない
・ラック、本箱など密閉した中に入れない

禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となります。

落とさない、強い衝撃を与えない

禁止

けがや火災の原因となります。

●販売店にご相談ください。

総質量に耐える場所に取り付ける

必ず守る

取り付け場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因となります。

●十分な強度に補強してから取り付けてください。

⚠ 注意

お手入れのときは電源を切る

必ず守る

けがの原因となります。

ベンジンやシンナー等は使用しない

禁止

塗装面に影響を与える場合があります。

**このたびはコンバーチブルカメラをお買い上げいただき、
まことにありがとうございました。**

概　要

- デジタル映像信号処理を採用し、高画質、高信頼性、多機能ながら、小型、軽量化を図った 3CCD 方式のカラーカメラです。
  2/3 型　3CCD（AW-E750）
  1/2 型　3CCD（AW-E655、AW-E650）
  1/3 型　3CCD（AW-E350）

- メニュー画面形式で容易にカメラのコンディションおよび各種機能の設定、切り換えができます。

- ROP、RCU や回転台等の周辺機器と接続でき、用途に応じたシステム展開が可能です。

- オプションカードの増設により、いろいろな用途に対応可能です。

  ※本機では下記のカードは使用できません。
  ・コンポーネントスタジオカード（AW-PB301）
  　→ AW-PB305A を使用してください。
  ・RGB カード（AW-PB302）　→ カメラ本体に機能を内蔵しています。
  ・高感度カード（AW-PB303）　→ カメラ本体に機能を内蔵しています。
  ・SDI カード（AW-PB304）　→ AW-PB504 を使用してください。
  ・スタジオ SDI カード（AW-PB306）　→ AW-PB506 または AW-PB506A を使用してください。
  ・SVGA カード（AW-PB307）
  ・WEB カード（AW-PB309）
  ・IEEE1394 カード（AW-PB310）

ご注意

本機のご使用を終え廃棄されるときは、環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

付属品

取扱説明書 .... 1 冊
カメラ取付アダプター .... 1 個
アダプター取付ねじ（M4） .... 2 本

＜ AW-E750、AW-E655 のみ＞
ワイヤー取付ねじ（インチねじ：1/4-20UNC）.. 1 個
ワイヤー取付平ワッシャー（インチねじ用）.. 1 個
ワイヤー取付スプリングワッシャー（インチねじ用）.. 1 個

＜ AW-E650、AW-E350 のみ＞
ワイヤー取付ねじ（M4）（スプリングワッシャー・平ワッシャー付）.. 1 個
丸形シール .... 2 個

特長

●デジタル映像信号処理の採用で高画質、高信頼性、多機能、小型軽量

- 解像度　：850 本（ハイバンド DTL ON）
- S/N 比　：67 dB（DNR ON）（AW-E750、AW-E655、AW-E650）
  66 dB（DNR ON）（AW-E350）
- 最低照度：0.00005 lx（AW-E750、AW-E655、AW-E650）
  0.00015 lx（AW-E350）

●小型ながら多機能

- CCD 蓄積機能、デジタルゲインアップ機能内蔵により高感度。
- RGB、Y/Pr/Pb、Y/C 信号出力回路搭載。
- IR スルー、ND フィルター（1/16、1/64）を内蔵した電動フィルターを搭載。（AW-E655 のみ）
- ATW、ELC、AGC 等のオート機能を搭載。
- CCD の読み出し（フィールド、フレーム）の切り換えも可能。
  フレームモードに切り換えることにより垂直解像度を上げることが可能、画像処理等の静止画取り込みに有利です。
- シンクロスキャン機能によりコンピューター画面撮像時の横線状ノイズを低減。
- コンピューターによるカメラコントロール機能を搭載。

●豊富な補正回路による忠実な映像再現

- クロマディテール補正で色の濃い部分もくっきり再現。
- ダークディテール回路で暗部も自然な輪郭補正が可能。
- デジタルカラーマトリクスで忠実な色再現が可能。
- 12 軸デジタルカラーマトリクスで自由な画作りが可能。

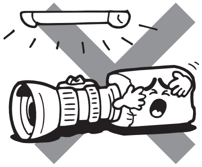
●多彩な映像制作が可能

- 4 種の使用モード（ハロゲンライト、蛍光灯、屋外、ユーザー）から、各用途に最適の条件を選択可能。
- SMPTE カラーバーを表示。
- RCU、ROP、マルチハイブリッドコントロールパネルによるリモートコントロール。

使用上のお願い

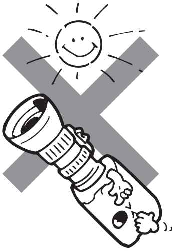
●撮影は適正な照明で

- 美しいカラー映像を得るには適正な照明で撮影してください。
- 蛍光灯の照明では正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。
- 明るすぎるところでは ND フィルターをお使いください。



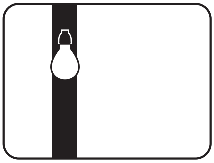
●高輝度の被写体では

光った被写体などを撮影すると CCD カメラ特有のスミア現象が発生します。



●オート機能使用のときは

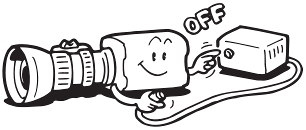
- ELC 動作のときに光った被写体などを撮影すると CCD 特有のスミア現象が発生することがあります。
- 蛍光灯下の ATW 機能の使用はホワイトバランスが変動する場合があります。



スミア：電球など光った高輝度の被写体の上下（縦方向）に尾が引く現象

●ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは必ず機器の電源を切ってから行ってください。

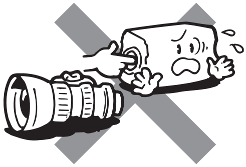


●取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えないでください。故障の原因になります。

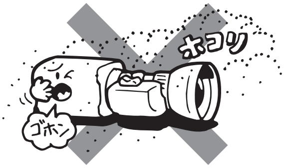
●光学系部には触れないで

光学系部はカメラの“命”。レンズを外したりして光学系には絶対に触れないでください。万一、ほこりがついた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。



●湿気、ほこりの少ない所で

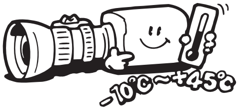
湿気、ほこりの多い所は、内部の部分がいたみやすくなりますのでさけてください。



使用上のお願い

●使用温度範囲は

−10 ℃以下の寒い所や +45 ℃以上の暑い所では画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、さけてください。



●お手入れは

電源を切って乾いた布でふいてください。
ほこりがとれにくいときは、台所用洗剤を布に浸み込ませて軽く拭いてください。
レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラなどの清掃に使うもの）で行ってください。

●冷却ファンについて（AW-E750、AW-E655 のみ）

内部には冷却ファンがついています。
動作時にふさいだり、通風を妨げたりしないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。
冷却ファンは消耗品ですので、約 30,000 時間を目安に交換してください。
（交換は必ず販売店へ依頼してください。）

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*
法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

＊経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

設置上のお願い

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

取付ねじ、落下防止用ワイヤーについて

落下防止用ワイヤーを取り付け、落下防止対策をしてください。

- 本機を当社製の回転台に取り付ける場合は、回転台に付属している取付ねじ、落下防止用ワイヤーを使用してください。
- 回転台以外に取り付ける場合は、落下防止用ワイヤー、カメラ取付金具をご用意ください。
  用意するものの詳細は、次ページを参照してください。
- 落下防止用ワイヤーは、カメラ取付用ねじ穴に取り付けてください。

以下のような場所での設置および使用はできません

- 屋外および水滴または水沫のかかる場所
- プールなど、薬剤を使用する場所
- 厨房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
- 放射線や X 線および強力な電波や磁気の発生する場所
- 使用周囲温度（–10 ℃～ 45 ℃）を超える場所
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所（レンズ部が曇ったり、結露したりする場合があります）。
- 車の上などの振動の多い場所
- 湿気やほこりの多い場所

使用していない場合は放置せず、必ず撤去してください

カメラケーブルは、電灯線などに近づけて配線しないでください

ノイズの入る原因になります。

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界（モーターやトランスなど）の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

屋外での使用について

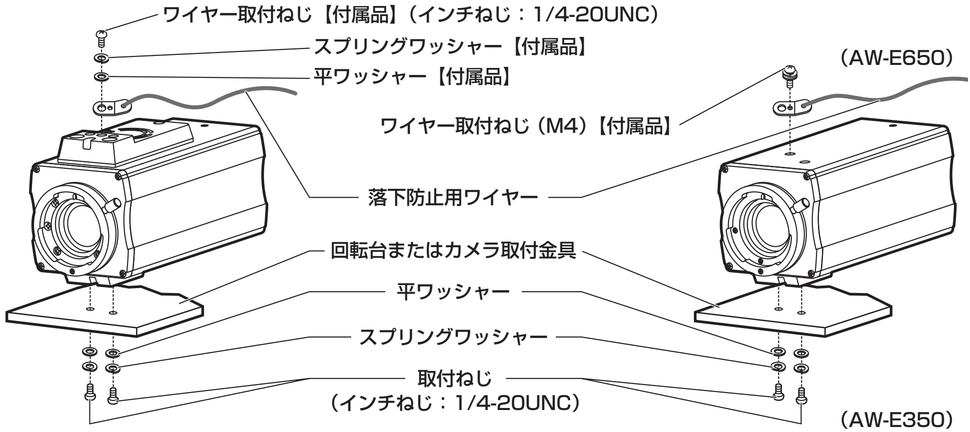
本機は屋内用カメラです。

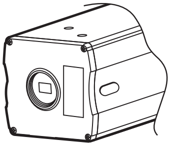
屋外で使用する場合は、屋外回転台 AW-PH650 を必ずご使用ください。

設置上のお願い

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

< AW-E750/AW-E655 の場合>　　　< AW-E650/AW-E350 の場合>





取付ねじの締め付けについて

右記のトルクで締め付けてください。
締め付けた後は、がたつきがないことを確認してください。

ねじ	締め付けトルク
取付ねじ（M4）	1.5 N·m（15 kgf·cm）
取付ねじ（インチねじ）	2.0 N·m（20 kgf·cm）

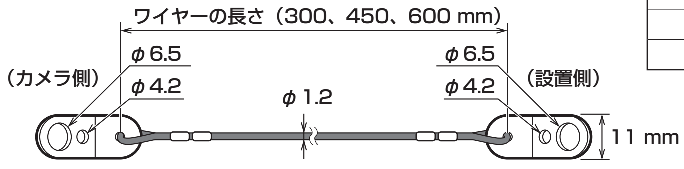
お客様でご用意いただくもの

当社製の回転台に取り付ける場合は、回転台に付属している落下防止用ワイヤー、取付ねじを使用してください。
本機を回転台以外に取り付ける場合は、下記のものをご用意ください。

①落下防止用ワイヤー（別売品）：1 本　※必ずご使用ください。

別売品として、3 種類の長さ（300 mm、450 mm、600 mm）の落下防止用ワイヤーを用意しております。設置場所や設置方法に合わせて、たるみのない長さのものを使用してください。
ご購入の際は、販売店にお問い合わせください。

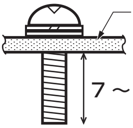
ワイヤーの長さ（mm）	部品品番
300	3CN001064BAA
450	3CN001064BAB
600	3CN001064BAC



設置上のお願い

②取付ねじ（インチねじ：1/4-20UNC）：2 本（カメラ取付用）

カメラ取付金具の厚みを考慮した長さにしてください。



③設置側ワイヤー取付ねじ（M6）

設置場所は、必ずアンカーボルトを使用し、全体の質量の 10 倍以上の強度を確保してください。

④1/4 インチねじ用平ワッシャー：2 個（カメラ取付用）

⑤1/4 インチねじ用スプリングワッシャー：2 個（カメラ取付用）

⑥カメラ取付金具：1 個

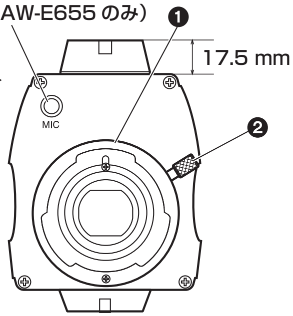
カメラおよびレンズ等の全体の質量に十分耐えられる材質・形状のものをご用意ください。

カメラ取付用の穴の位置は、14 ページの＜底面＞を参照して、φ7 mm（取付ねじ：1/4-20UNC に対応）の穴を開けてください。

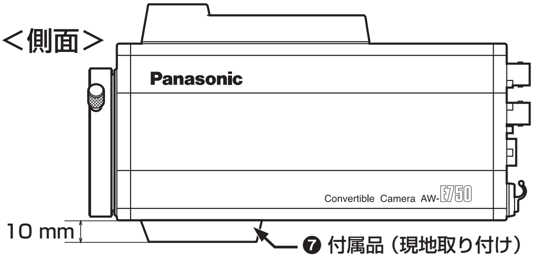
各部の名前とはたらき

■前面・側面・上面・底面

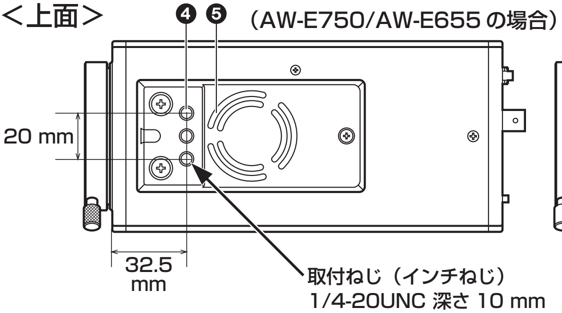
＜前面＞

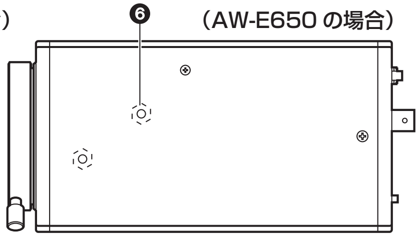


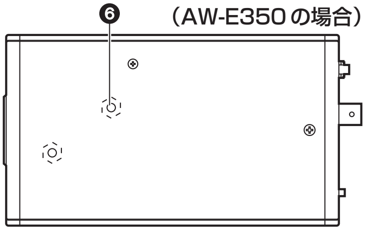
＜側面＞



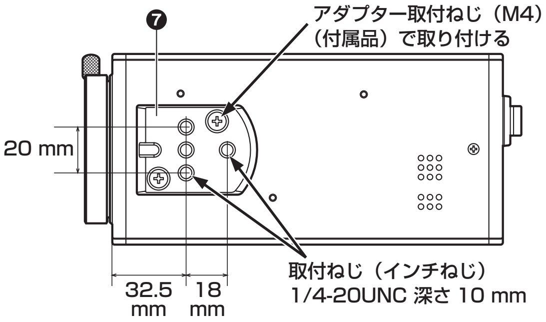
＜上面＞



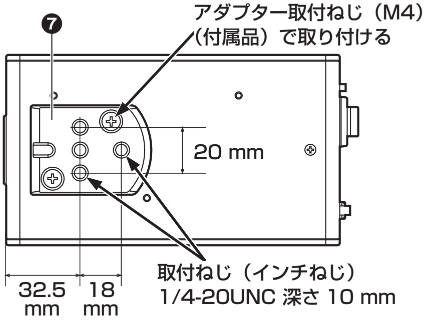




＜底面＞（AW-E750/AW-E655/AW-E650 の場合）



＜底面＞（AW-E350 の場合）



各部の名前とはたらき

❶ レンズマウント

2/3 型バヨネット式（B4 マウント）レンズ**（AW-E750）**

1/2 型バヨネット式（B4 マウント）レンズ**（AW-E655、AW-E650）**

1/3 型 C マウントレンズ**（AW-E350）**

上記の各レンズや顕微鏡アダプターなどを取り付けます。

❷ レンズ固定リングノブ（AW-E750、AW-E655、AW-E650 のみ）

時計方向にまわしてレンズを固定します。

❸ マイクジャック（AW-E655 のみ）

プラグインパワー対応の ∅3.5 のマイク端子です。

インピーダンス 1 kΩ 以上、不平衡のマイクを使用してください。

❹ カメラ取付用ねじ穴（取付ねじ穴：1/4-20UNC）
（AW-E750、AW-E655 のみ）

壁面や天井にカメラを設置したいときや、回転台、三脚を使いたいときは、このねじ穴または、付属のカメラ取付アダプターを使用し固定します。

また、このねじ穴にワイヤー取付ねじ（インチねじ：1/4-20UNC）を使って落下防止用ワイヤーを取り付けます。

❺ 冷却ファン（AW-E750、AW-E655 のみ）

冷却用のファンです。

メニューで「Auto」と「OFF」が選択できます。

❻ ワイヤー取付用穴（AW-E650、AW-E350 のみ）

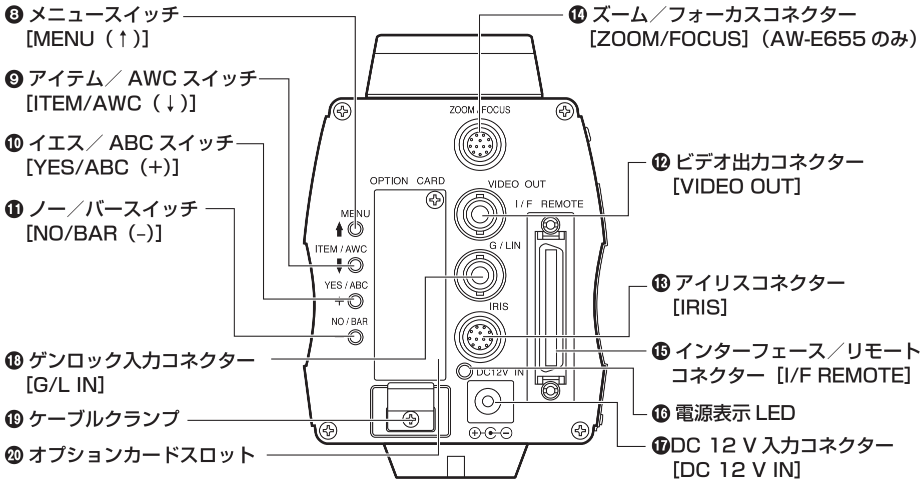
底面側でカメラを取り付ける場合に、ワイヤー取付ねじ（M4）を使って、落下防止用ワイヤーを取り付けます。

❼ カメラ取付アダプター

現地の取付金具や回転台、三脚に取り付けるときに、このアダプターをカメラの底面に取り付けます。付属品ですので、20 ページを参照して取り付けてください。

各部の名前とはたらき

■後面



❽ メニュースイッチ［MENU（↑)]

約 5 秒押すとメニューが画面に表示されます。メニュー表示中に押すとメニューの1 つ上の項目を選択できます。

❾ アイテム／ AWC スイッチ［ITEM/AWC（↓)]

メニュー表示中に押すと、メニューの 1 つ下の項目を選択できます。
メニューを表示していないとき（撮影状態）はホワイトバランスの自動調整（AWC）スイッチとなります。

❿ イエス／ ABC スイッチ［YES/ABC（+)]

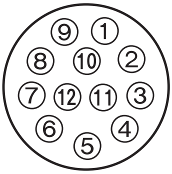
メインメニュー表示中に押すと、各項目のサブメニューが表示されます。
サブメニュー表示中に押すと、設定値が高いほうに変化します。
メニューを表示していないときはブラックバランスの自動調整（ABC）スイッチとなります。

各部の名前とはたらき

⓫ ノー／バースイッチ［NO/BAR（–)］
メインメニュー表示中に押すと、1 つ下の項目を選択できます。
サブメニュー表示中に押すと、設定値が低いほうに変化します。
メニューを表示していないときに約 5 秒押すとカラーバー信号とカメラ（撮影状態）が切り換わります。

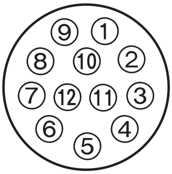
⓬ ビデオ出力コネクター［VIDEO OUT］
コンポジットビデオ信号を出力します。（1 V [p-p] 75 Ω BNC コネクター）

⓭ アイリスコネクター［IRIS］
オートアイリス機能付きレンズの標準入力端子です。



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	リターンコントロール	7	アイリスフォロー
2	–	8	オート／リモート
3	GND	9	–
4	オート／マニュアル	10	–
5	アイリスコントロール	11	–
6	レンズパワー	12	–

⓮ ズーム／フォーカスコネクター［ZOOM/FOCUS］（AW-E655 のみ）
レンズのリモートケーブルを接続します。ズーム・フォーカスのリモート機能付きレンズの標準入力端子です。当社の回転台（AW-PH360、AW-PH400、AW-PH405、AW-PH650 等）に取り付けてご使用になる場合は、このコネクターを使用しないで、レンズのリモートケーブルは回転台側の LENS I/F コネクターに接続してください。



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1	フォーカスモード ポジション／スピード ／オートフォーカス	7	シグナルコントロール (+5.0 V)
2	ズームモード ポジション／スピード	8	フォーカス コントロール
3	GND	9	ズームコントロール
4	アイリス／ リモート／カメラ	10	アイリスモード ポジション／スピード
5	アイリスコントロール	11	+V（+7.5 V）
6	レンズパワー	12	–V（+2.5 V）

各部の名前とはたらき

⓯インターフェース／リモートコネクター［I/F REMOTE］

リモートコントロールユニット（RCU：AW-RC600）、リモートオペレーションパネル（ROP：AW-CB400）、回転台（AW-PH360、AW-PH400、AW-PH405、AW-PH650）等を接続する端子です。

・AW-RC600 の接続には、RCU ケーブル AW-CA50A26 が必要です。
・AW-CB400 の接続には、接続ケーブル AW-CA50T8 が必要です。
・AW-PH360/AW-PH400/AW-PH405/AW-PH650 の接続には、回転台に付属されたケーブルをご使用ください。

⓰電源表示 LED

DC 12 V 入力コネクター ⓱ に DC 電源が入力されると赤く点灯します。

⓱DC12V 入力コネクター［DC 12 V IN］

∅6.5 プラグ付 DC ケーブルを使用して、DC 12 V 電源（2 A 以上）を接続します。（推奨 AC アダプター：AW-PS505A に付属）

⓲ゲンロック入力コネクター［G/L IN］

カメラに外部同期をかけるとき、外部同期信号（ブラックバースト）を入力します。

⓳ケーブルクランプ

DC 12 V 入力コネクター ⓱ に接続した ∅6.5 プラグ付 DC ケーブルをクランプし、ケーブル抜けを防止します。

⓴オプションカードスロット

オプションカード用のスロットです。詳しくは、各オプションカードの取扱説明書をご参照ください。

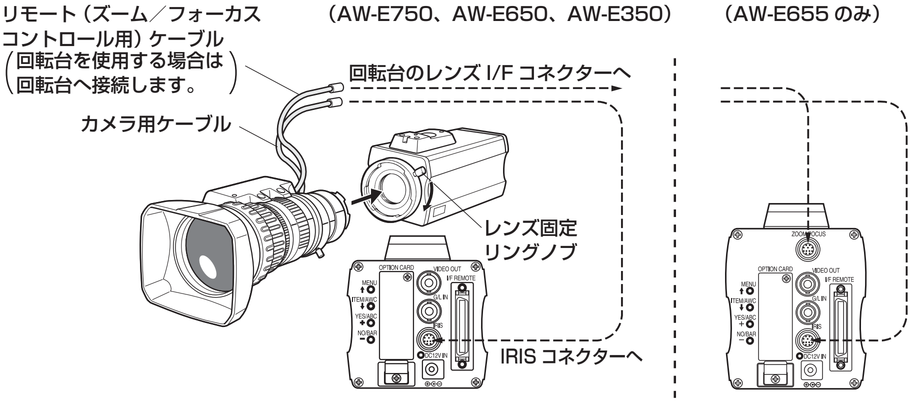
取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

■レンズの取り付けかた

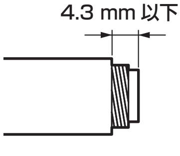
AW-E750、AW-E655、AW-E650（バヨネットマウント式レンズ）

- レンズケーブルが短いときは、レンズ延長ケーブル AW-CA12T12A を使用してください。
  ① レンズ固定リングノブを反時計方向に回し、レンズマウントキャップを外します。
  ② レンズを取り付け、レンズ固定リングノブを時計方向に回し確実に固定します。
  ③ レンズケーブルを後面のアイリスコネクターに接続します。



AW-E350（C マウント式レンズ）

- カメラ本体を破損する恐れがありますので、必ずマウントねじ部がレンズマウント面より 4.3 mm 以下のレンズをお使いください。



＜推奨レンズ＞

カメラ	レンズ
AW-E350	AW-LZ16MD55P
AW-E650	AW-LZ16MD73P
AW-E655	AW-LZ16MD73P
AW-E750	AW-LZ17MD9AG

- レンズにより取り付けかたの異なる物があります。レンズの取扱説明書をあわせてご覧ください。
  ① レンズマウントキャップを外し、レンズマウントのねじ山に合わせてレンズをねじ込み、確実に固定します。
  ② レンズケーブルを後面のアイリスコネクターに接続します。

ご注意

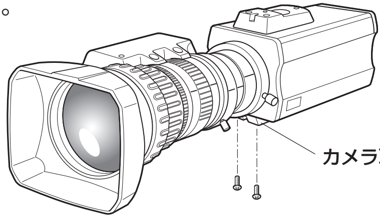
- レンズは、レンズ固定リングノブで確実に締め付けて、がたつきのないことを確認してください。フードについても、がたつきのないことを確認してください。

取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

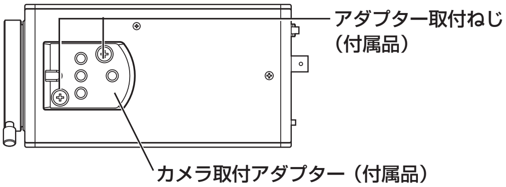
■カメラ取付台（回転台、三脚など）の取り付けかた

① AW-E750、AW-E655 の場合：
　カメラ底面に付属のカメラ取付アダプターを付属のねじで取り付けます。
　AW-E650、AW-E350 の場合：
　カメラの天面または底面に付属のカメラ取付アダプターを付属のねじで取り付けます。



非常に明るいところで使用する場合には、カメラ取付アダプターが取り付けられていない穴を、付属のシールでふさいでください。

カメラ取付アダプターはドライバー等の工具を使用して、ねじを確実に締め付けてください。
また、カメラ取付アダプターの向きを間違えないようにご注意ください。



ご注意

- カメラ取付アダプターの取り付けは、1.5 N・m（15 kgf·cm）のトルクで確実に締め付けて、がたつきのないことを確認してください。

② 取り付けたカメラ取付アダプターのカメラ取付用ねじ穴（インチねじ：1/4-20UNC）を使って、カメラ取付台（回転台、三脚など）に確実に固定します。

取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

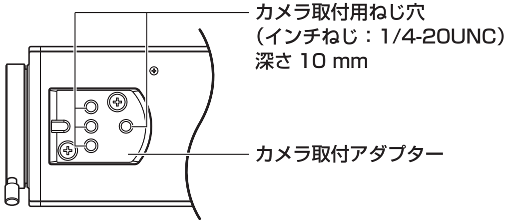
■回転台、三脚、カメラ取付金具などへの取り付け

① カメラ取付用ねじ穴（インチねじ：1/4-20UNC）を使って、回転台、三脚、カメラ取付金具などに取り付けてください。

② [AW-E750/AW-E655 の場合]
底面に取り付けた場合は上面、上面に取り付けた場合は底面のカメラ取付用ねじ穴に、ワイヤー取付ねじ（インチねじ：1/4-20UNC）を使って落下防止用ワイヤーを取り付けます。
[AW-E650/AW-E350 の場合]
底面に取り付けた場合は上面、上面に取り付けた場合は底面のカメラ取付アダプター取付用ねじ穴にワイヤー取付ねじ（M4）を使って落下防止用ワイヤーを取り付けます。

本機を当社製の回転台に取り付ける場合は、回転台に付属している取付ねじ、落下防止用ワイヤーを使用してください。

三脚、カメラ取付金具などに取り付ける場合は、11 ～ 13 ページを参照して、落下防止用ワイヤー、取付ねじ、ワッシャーをご用意ください。



カメラの脱落や落下防止について

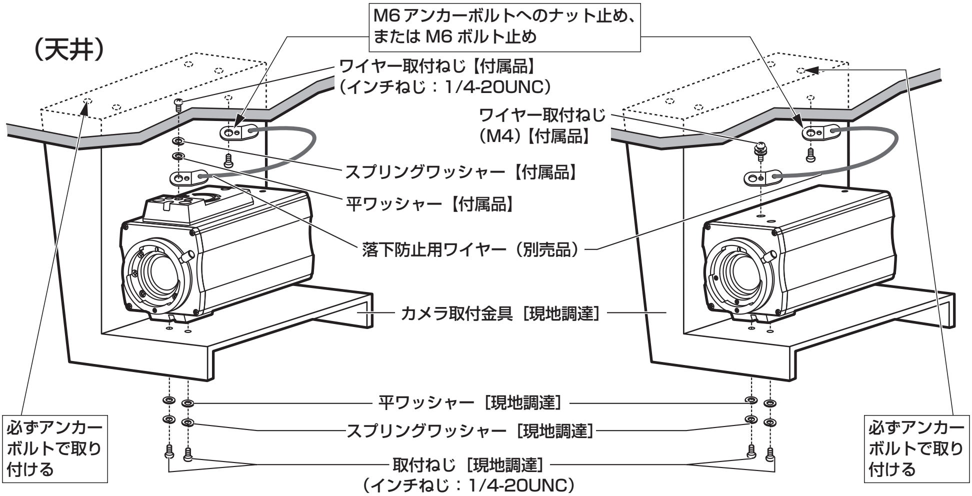
- カメラを回転台（AW-PH360、AW-PH400、AW-PH405、AW-PH650）に取り付けるときには、回転台の取扱説明書の内容に従い、カメラと回転台を確実に固定してください。
  また、回転台には落下防止用のワイヤーと取付ねじが付属されていますので、確実にカメラと回転台を連結して落下防止対策を行ってください。
- カメラを回転台（AW-PH360、AW-PH400、AW-PH405、AW-PH650）以外の取付台や、他の回転台等に取り付けるときは、カメラとレンズ、また接続ケーブル等を含めた全体の質量に十分耐えられることを確認し、所定の工具を使用して確実に取り付けて、必ず落下防止対策を行ってください。

取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

● 天井や壁面に取り付ける例

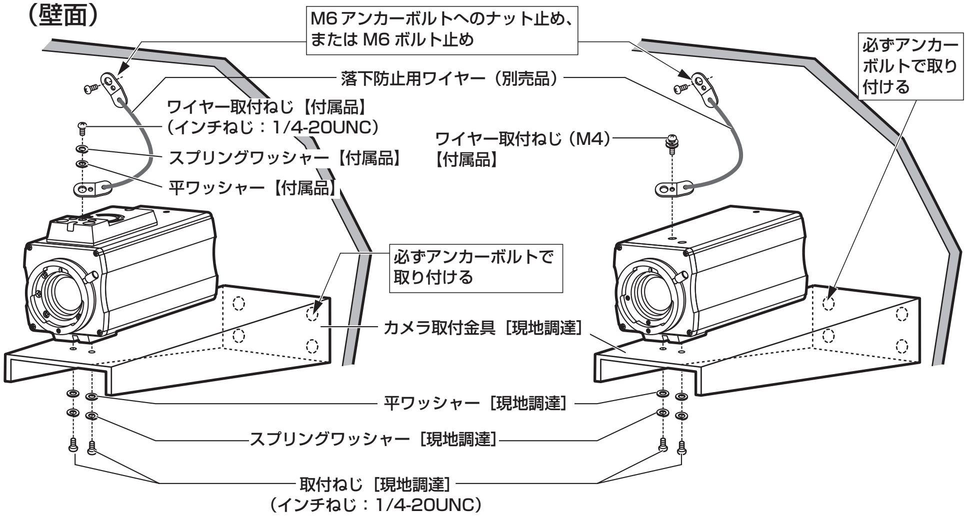
（天井）



AW-E750/AW-E655 の場合

AW-E650/AW-E350 の場合
（上記イラストは、AW-E650・AW-E350 で同じ取り付け方法です）

（壁面）



AW-E750/AW-E655 の場合

AW-E650/AW-E350 の場合
（上記イラストは、AW-E650・AW-E350 で同じ取り付け方法です）

取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

ご注意

- 取付金具の設置および落下防止用ワイヤーの片側を天井や壁面に取り付ける際は、必ずアンカーボルトを使用し、取付金具、カメラ、レンズ、ケーブル類を含めた全体の質量の 10 倍以上の引抜強度を確保してください。
- 取付金具、カメラ本体、レンズ、ケーブル類を含めた全体の質量が 8 kg 以内になるようにしてください。
- 落下移動距離が 150 mm 以下になるように落下防止用ワイヤーを取り付けてください。
- 取付ねじの締め付けについては、下表のトルクで締め付け、がたつきのないことを確認してください。

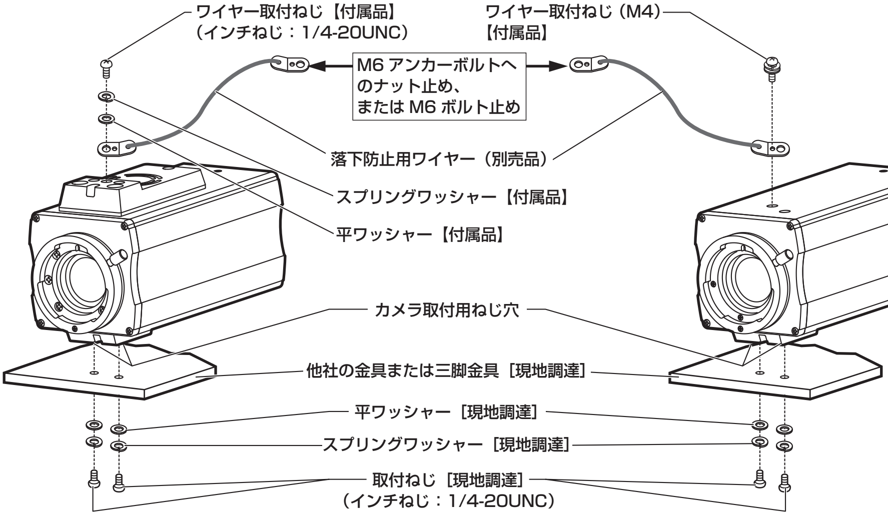
ねじ	締め付けトルク
取付ねじ（M4）	1.5 N·m（15 kgf·cm）
取付ねじ（インチねじ）	2.0 N·m（20 kgf·cm）

- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損の原因になります。

取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

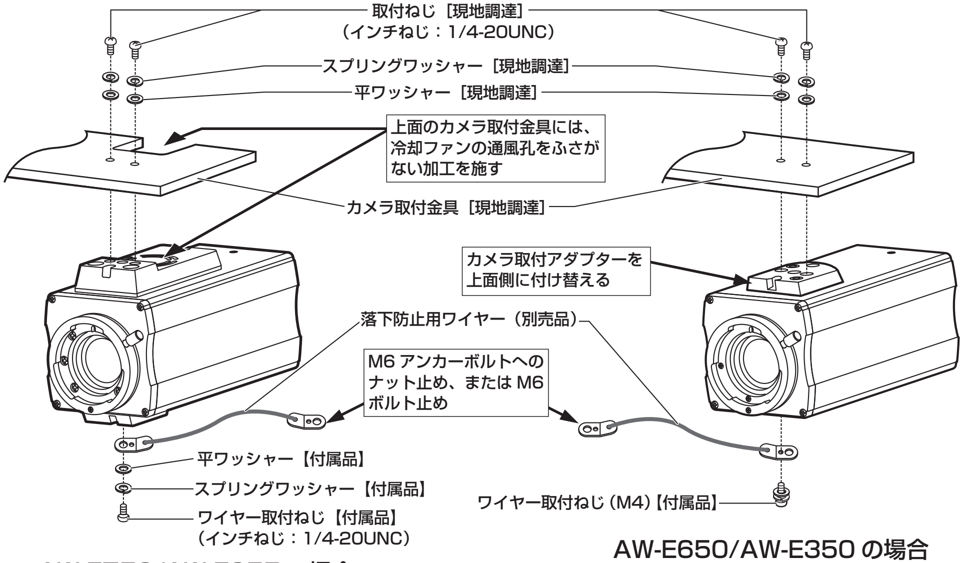
● 他社の金具や三脚に取り付ける例



AW-E750/AW-E655 の場合

AW-E650/AW-E350 の場合
（上記イラストは、AW-E650・
AW-E350 で同じ取り付け方法です）

● 上面から取り付ける例



AW-E750/AW-E655 の場合

AW-E650/AW-E350 の場合
（上記イラストは、AW-E650・
AW-E350 で同じ取り付け方法です）

取り付けかた

本機の設置・調整および接続工事は必ず販売店にお申しつけください。

ご注意

- 取付金具の設置および落下防止用ワイヤーの片側を天井や壁面に取り付ける際は、必ずアンカーボルトを使用し、取付金具、カメラ、レンズ、ケーブル類を含めた全体の質量の 10 倍以上の引抜強度を確保してください。
- 三脚に取り付けた場合でも、三脚側のねじ等を使用して、必ず落下防止対策をしてください。
- 上面から取り付ける場合には、冷却ファンの通風孔をふさがないでください。
- 取付金具、カメラ本体、レンズ、ケーブル類を含めた全体の質量が 8 kg 以内になるようにしてください。
- 落下移動距離が 150 mm 以下になるように落下防止用ワイヤーを取り付けてください。
- 取付ねじの締め付けについては、下表のトルクで締め付け、がたつきのないことを確認してください。

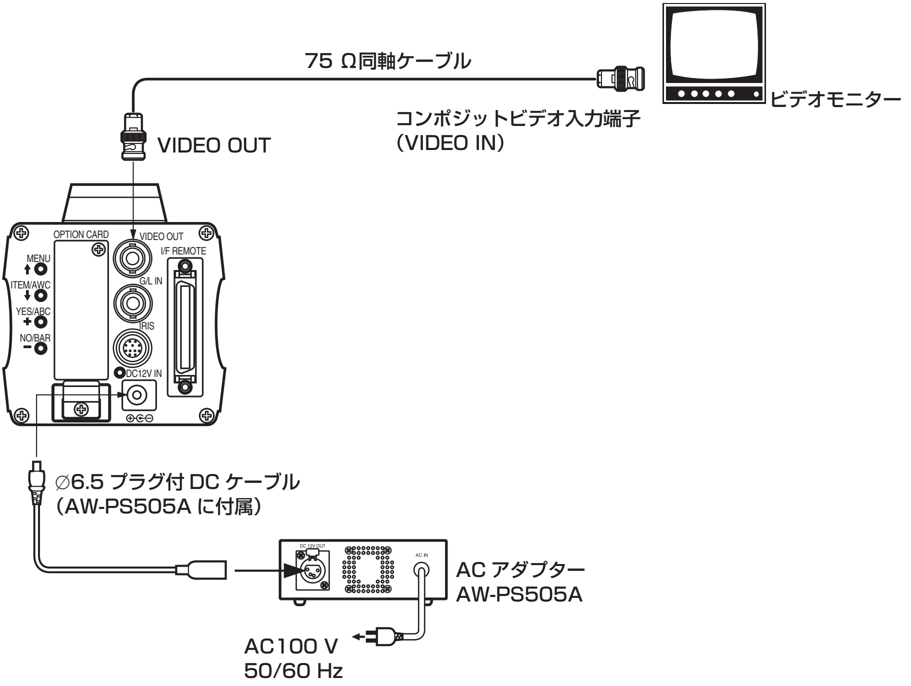
ねじ	締め付けトルク
取付ねじ（M4）	1.5 N·m（15 kgf·cm）
取付ねじ（インチねじ）	2.0 N·m（20 kgf·cm）

- インパクトドライバーは使用しないでください。ねじの破損の原因になります。

システムの組みかた（接続）

■コンポジットビデオ入力端子を持つ機器の接続

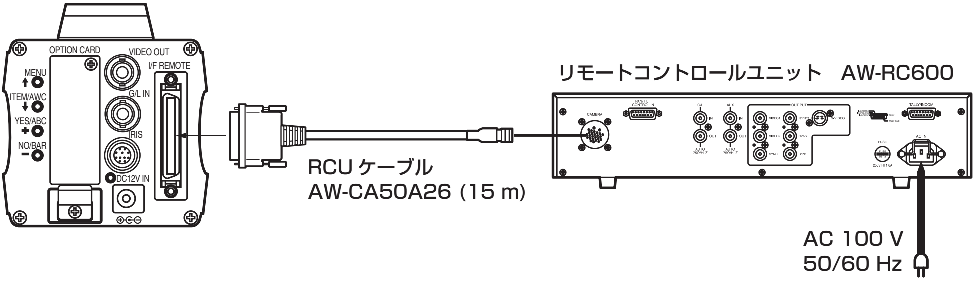
- ビデオモニターや VTR など、コンポジットビデオ入力端子を持つ機器へは、本機のビデオ出力コネクターからの出力を接続します。
- 電源は、AC アダプター AW-PS505A をお使いください。
- DC ケーブルは、AW-PS505A に付属の ∅6.5 プラグ付 DC ケーブルをお使いください。



システムの組みかた（接続）

■リモートコントロールユニット（RCU）の接続

- RCU（AW-RC600）と本機との接続は、RCU ケーブル AW-CA50A26 を使用してください。
- AW-RC600 と本機の最大延長距離は 100 m までです。
  延長には、スタジオケーブル WV-CA26U15（15 m）、WV-CA26U30（30 m）、WV-CA26U100（100 m）とケーブルジョイントアダプター WV-CA26T26 を使用してください。
- 電源は RCU から供給されます。

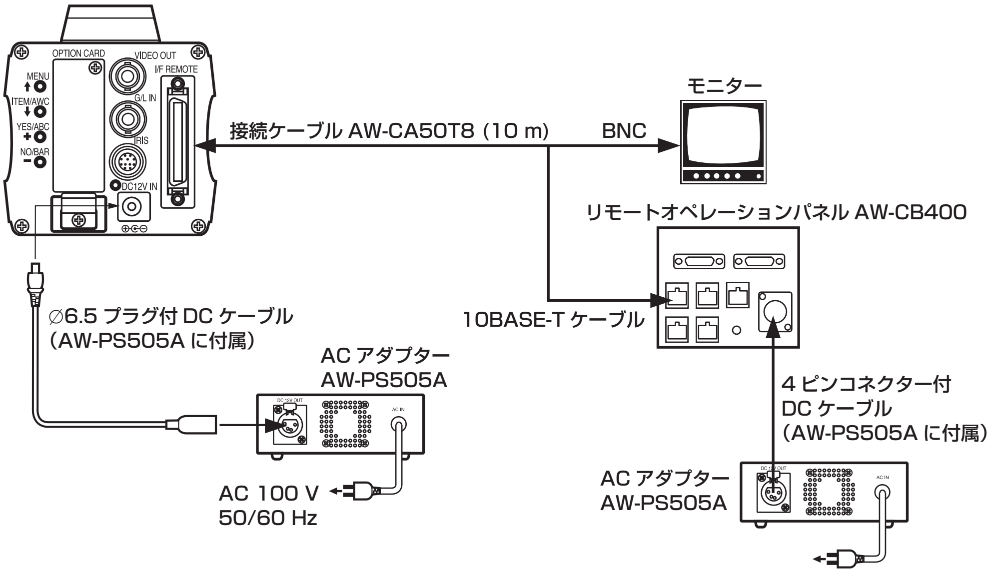


① 接続する前に RCU の電源スイッチは「OFF」にしてください。
② RCU ケーブルの 50 ピン側をカメラのインターフェース／リモートコネクターに接続します。26 ピン側は RCU と接続します。
③ RCU の電源を「ON」にすると、電源表示 LED が点灯し、カメラは RCU からコントロールされます。

システムの組みかた（接続）

■リモートオペレーションパネル（ROP）の接続

- ROP(AW-CB400)と本機との接続は、接続ケーブルAW-CA50T8を使用します。

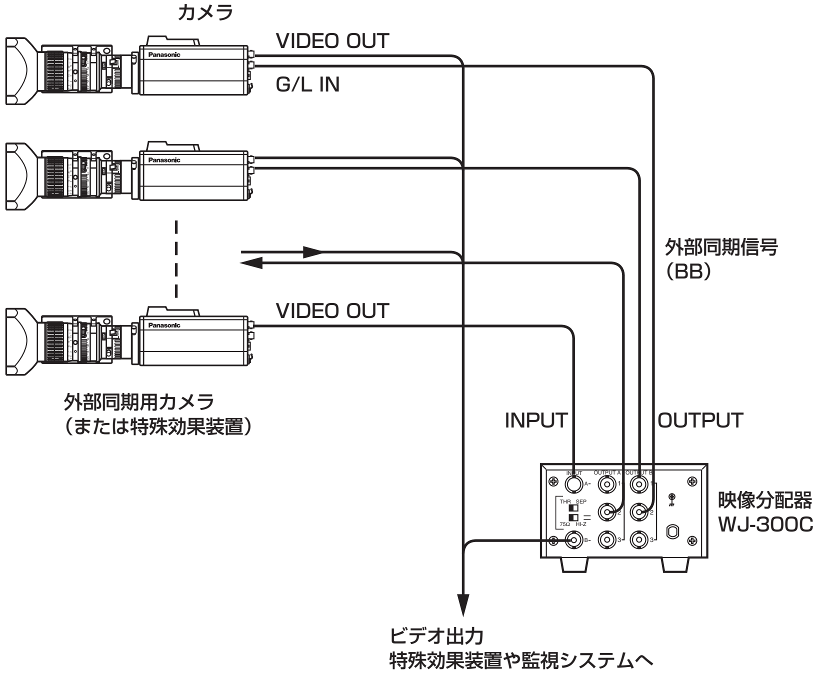


① 接続する前に AC アダプターの電源スイッチは「OFF」にして、ROP の OPERATE スイッチを「OFF」にしておいてください。
② 接続ケーブルの 50 ピン側をカメラのインターフェース／リモートコネクターに接続します。10BASE-T ケーブルは ROP と接続します。
③ AC アダプターの電源スイッチを「ON」にして、ROP の OPERATE スイッチを「ON」にすると、ROP 側からカメラをコントロールすることができます。
④ 撮影終了後は、ROP の OPERATE スイッチを「OFF」にしてから、AC アダプターの電源スイッチを「OFF」にします。

システムの組みかた（接続）

■複数台のカメラの接続（外部同期のかけかた）

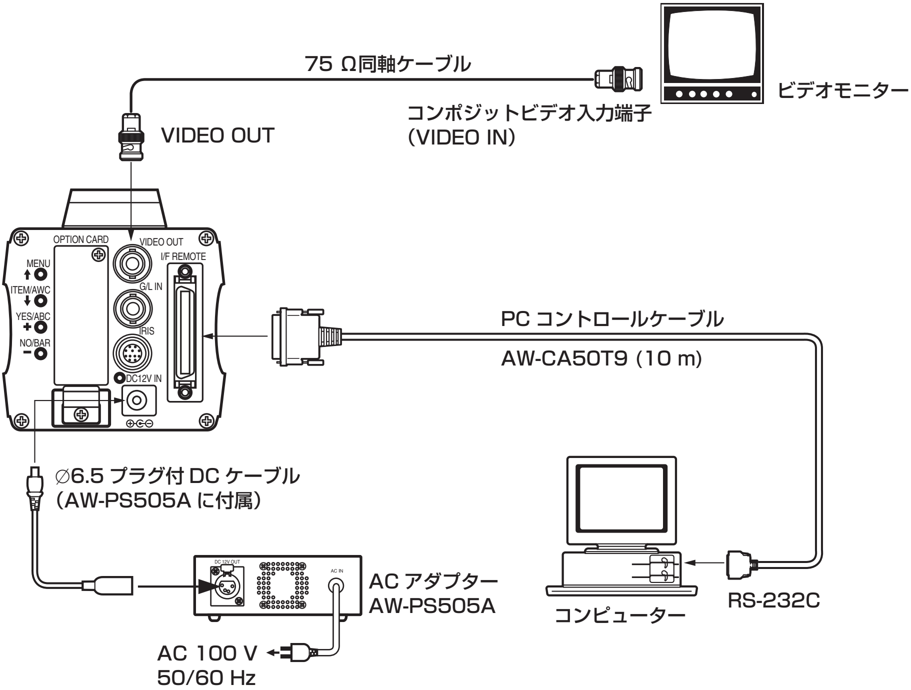
- ゲンロック入力コネクターに同期信号（BB）を入力します。
- 外部同期用として使用するカメラの電源は「切」にしないでください。
- 外部同期をかけるときは、ゲンロック調整が必要です。（40 ページ）



システムの組みかた（接続）

■コンピューターコントロール時の接続

● コンピューターでカメラをコントロールするためには、PC コントロールケーブル AW-CA50T9 が必要です。販売店にお問い合わせください。
コントロール用ソフトはお客様でご用意ください。



■回転台システムの接続

● 回転台との接続については、回転台の取扱説明書をご参照ください。

使用モードの選択

■使用モードの選択

本機はカメラの各機能を使用状態に合わせてあらかじめ設定された４種の使用モードから選択できます。撮影条件、好みに応じて選択してください。

●ハロゲンライトモード

結婚披露宴、パーティ、講演会、イベント会場等の室内撮影にむいています。
簡単なメニューで設定の変更ができます。

●蛍光灯モード

蛍光灯下の屋内の撮影にむいています。簡単なメニューで設定の変更ができます。

●屋外モード

屋外の撮影にむいています。簡単なメニューで設定の変更ができます。

●ユーザーモード

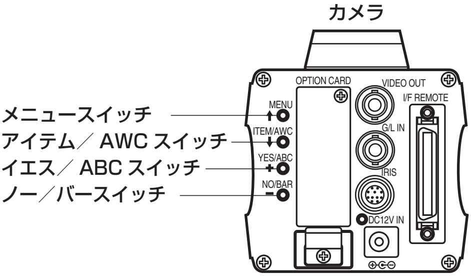
詳細なメニューで設定の変更ができます。

使用モードの選択

■選択のしかた

●カメラ単体の場合

① メニュースイッチを押しながらカメラの電源を入れると、使用モード設定画面がモニターに表示されます。
② メニュースイッチ、アイテム／ AWC スイッチ、ノー／バースイッチを押すたびに点滅する使用モードが変わります。希望する使用モードを点滅させます。
③ イエス／ ABC スイッチを押すと点滅している項目に決定し、設定画面を約 5 秒間表示し、撮像状態に戻ります。以降は、カメラは、本設定状態で動作します。



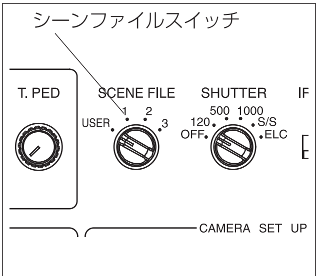
＊＊使用モード　設定＊＊

ハロゲンライトモード
蛍光灯モード
屋外モード
ユーザーモード

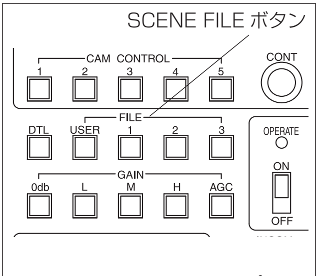
● RCU、ROP、マルチハイブリッドコントロールパネルの場合

RCU、ROP、マルチハイブリッドコントロールパネルのシーンファイルスイッチまたは SCENE FILE ボタンで選択できます。

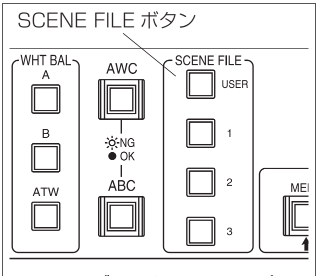
使用モード	シーンファイルスイッチ または SCENE FILE ボタン
ハロゲンライトモード	1
蛍光灯モード	2
屋外モード	3
ユーザーモード	USER SET



リモートコントロールユニット



リモートオペレーションパネル



マルチハイブリッドコントロールパネル

操作の手順

1 各機器の電源を入れる。

2 被写体の照明を適度にする。

3 使用モードを選ぶ。
一度選ぶと、同条件で使うときは選択の必要はありません。

4 レンズのフランジバックを調整し、絞り、ピントを合わせる。
- フランジバック調整は、初めて使うとき、レンズを変えたときに必要。

5 ホワイトバランスをとる。
- 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要。
- 照明条件、明るさが変わったときに必要。
- 一度とると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

6 ブラックバランスをとる。
- 初めて使うとき、長時間使わなかったときに必要。
- 周囲温度が大幅に変わったとき、季節の変わり目などに必要。
- 一度とると、同条件で使うときは調整の必要はありません。

7 撮影する。
（終わったら各機器の電源を切る。）

8 用途・条件に応じてカメラの設定を変えたいときは 44 ページ以降を参照してください。
（通常は出荷時に適値に設定されています。）

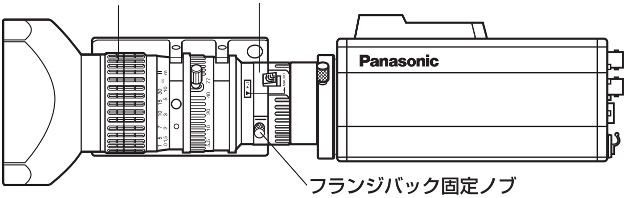
調整のしかた

■フランジバック調整（ズームレンズの場合に必要です。）

AW-E750、AW-E655、AW-E650

ズームレンズの最望遠から最広角までの全範囲でピントを合わせる調整です。

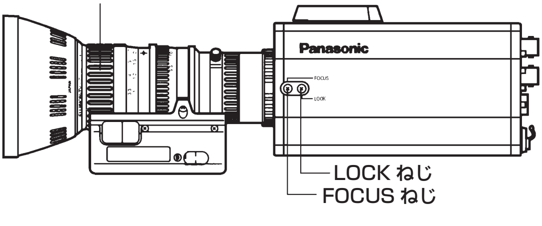
① 暗い被写体を写し、絞りを解放にします。
② 被写体との距離を 2 m 以上にし、レンズのフランジバック固定ノブをゆるめます。
③ レンズを最望遠にし、フォーカスリングでピントを合わせます。
④ レンズを最広角にし、フランジバック調整リングでピントを合わせます。
⑤ ズーム範囲内でピントが合うまでフォーカスリングとフランジバック調整リングで繰り返し調整します。調整し終わったらフランジバック固定ノブを締め付けます。



AW-E350

ズームレンズの最望遠から最広角までの全範囲でピントを合わせる調整です。
固定焦点レンズでバックフォーカスが合わない場合にも行ってください。
（調整範囲：± 0.2 mm）

① 暗い被写体を写し、絞りを解放にします。
② 被写体との距離を 2 m 以上にし、カメラのフランジバック調整ねじのキャップをはずし、LOCK ねじをゆるめます。
③ レンズを最望遠にし、フォーカスリングでピントを合わせます。
④ レンズを最広角にし、FOCUS ねじを回してピントを合わせます。
⑤ ズーム範囲内でピントが合うまでフォーカスリングと FOCUS ねじで繰り返し調整します。調整が終わると LOCK ねじを締め付けます。

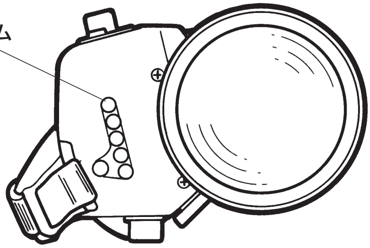


調整のしかた

■レンズ内のアイリスゲインボリューム調整

- レンズハウジング前面にアイリスゲイン調整用穴（G または S 表示）があります。ドライバーを使用して下記の手順で調整してください。（レンズにより、位置や形状が多少異なります。）

① レンズのアイリス選択スイッチを A（AUTO）側にします。
② アイリスゲイン調整ボリュームを回してハンチングが起こらない範囲でゲインを最高にします。



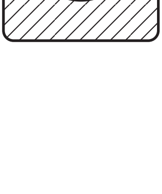
自動絞りパワーズームレンズの例

■ホワイトバランス調整

●自動調整（AWC：AWC A/AWC B）

- 色設定サブメニュー（46、56 ページ）でホワイトバランスに「AWC A」または「AWC B」を選択したときは、A/B で 2 ヶ所の色温度条件をあらかじめセット（記憶）しておくことができます。
- 設定内容と同条件下で使用する場合は一度調整しておくと、メニューまたは RCU（ROP）、マルチハイブリッドコントロールパネルのスイッチをいずれかに切り換えるだけで完了です。改めてセットする必要はありません。
- 新たにセットすると以前の内容は消去されます。

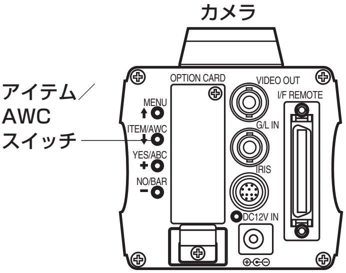
① ホワイトバランスに「AWC A」または「AWC B」を選択します。
② 白い被写体（白壁や白いハンカチなど）を画面一杯に映します。白い被写体の大きさは画面の 10 % 以上必要で、中央に映します。
また、光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。



調整のしかた

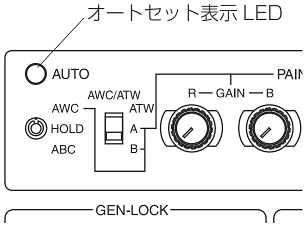
カメラで調整する場合

③ 撮影状態でアイテム／ AWC スイッチを 2 秒以上押すとホワイトバランスをセットすることができます。

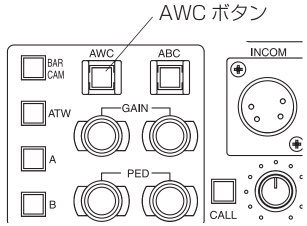


RCU、ROP、マルチハイブリッドコントロールパネルの場合

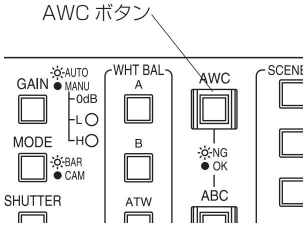
④ RCU の場合は、オートホワイト／オートブラックセットスイッチを「AWC」側にセットします。
ROP、マルチハイブリッドコントロールパネルの場合は、AWC ボタンを押します。
これによりホワイトバランスをセットすることができます。
また、ホワイトバランスセット中、オートセット表示 LED または AWC ボタンが点滅し、セット OK ならオートセット表示 LED または AWC ボタンが消灯、NG なら点灯します。NG の場合は、再度セットし直してください。



リモートコントロールユニット



リモートオペレーションパネル



マルチハイブリッドコントロールパネル

ご注意

- 被写体照度が不足した場合はホワイトバランスが正しくとれないことがあります。
- ホワイトバランスをセットした後は、カメラ電源を切ってもカメラに内蔵のメモリにより長期間保持されています。被写体の色温度の状態がセットする前と変わらなければセットし直す必要はありませんが、設定条件が変わる場合（撮影場所が屋外から屋内に変わる、またはその逆など）はホワイトバランスをセットし直してください。
- カメラ単体で使用するとき、ホワイトバランスをセットすると、ペインティングの R/B ゲイン調整の設定は± 0 へ戻ります。（ペインティングの設定はユーザーモードのみ）

調整のしかた

●自動色温度追尾（ATW）

ホワイトバランス選択を「ATW」にすると、光源や色温度が変わっても自動的にホワイトバランスを合わせるように自動補正し、違和感のない画像にします。

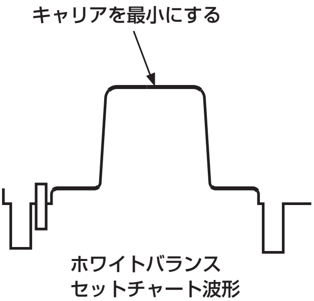
ご注意

- 高輝度（蛍光灯等）が画面に入った場合、ATW が正しく動作しない時があります。
- 画面上に白がない場合ホワイトバランスがズレることがあります。

●手動調整

カメラ、マルチハイブリッドコントロールパネルで調整する場合

ユーザーモードのときのみ手動調整ができます。



① ホワイトバランス選択を「AWC A」または「AWC B」にします。
② 白い被写体をモニター画面一杯に映して、自動ホワイトバランスをとります。
③ 色設定サブメニューのペインティングで R/B ゲインを可変して、映像信号の白の部分のキャリアが最小になるように（または映像の白の部分が白になるように）調整します。
（調整はオロシスコープまたはウエーブフォームモニターを使用）
マルチハイブリッドコントロールパネルを使ってのメニュー操作については、マルチハイブリッドコントロールパネルの取扱説明書をご参照ください。

RCU または ROP で調整する場合

自動ホワイトバランスをとった後、RCU（ROP）の赤・青ゲイン調整ボリューム（R/B GAIN ダイヤル）で調整します。

● 3200K・5600K プリセット

ホワイトバランス選択を「P SET 3200K」または「P SET 5600K」にすると、それぞれ色温度 3,200K、5,600K でホワイトバランスがセットされた状態になります。

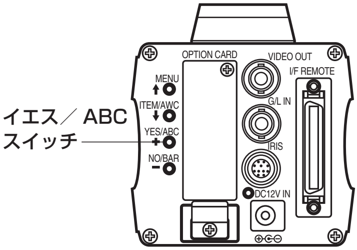
調整のしかた

■ブラックバランス調整

- レンズをクローズにして行います。モータードライブレンズをカメラからコントロールしている場合は、ブラックバランス調整を行うと自動的にクローズになります。
- カメラ単体で使用するとき、ブラックバランスをセットすると、ペインティングの R/B ペデスタル調整の設定は± 0 に戻ります。（ペインティングの設定はユーザーモードのみ）

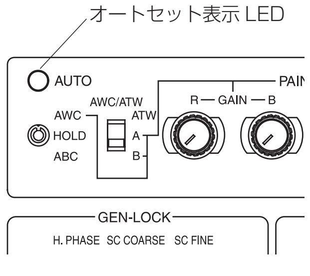
カメラで調整する場合

イエス／ ABC スイッチを 2 秒以上押すと、約 10 秒でブラックバランスがセットされます。
ユーザーモードのときは、ブラックバランスをセットしたあと、色設定サブメニューのペインティングで、R ペデスタル、B ペデスタルを可変してブラックバランスの微調整ができます。

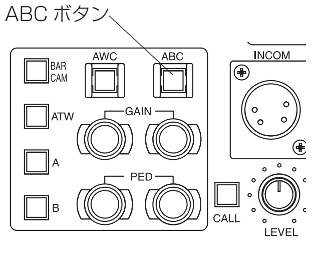


RCU、ROP、マルチハイブリッドコントロールパネルで調整する場合

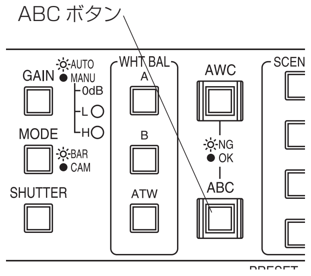
RCU の場合、オートホワイト／オートブラックセットスイッチを「ABC」側にセットします。
ROP、マルチハイブリッドコントロールパネルの場合、ABC ボタンを押すと、ブラックバランスがセットされます。
また、ブラックバランスセット中、オートセット表示 LED または ABC ボタンが点滅し、セット OK ならオートセット表示 LED または ABC ボタンが消灯、NG なら点灯します。NG の場合は、再度セットし直してください。



リモートコントロールユニット



リモートオペレーションパネル



マルチハイブリッドコントロールパネル

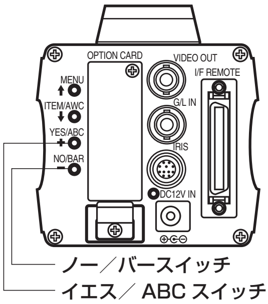
調整のしかた

■黒レベル（トータルペデスタル）調整

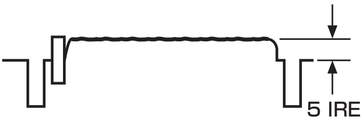
（調整はオシロスコープまたはウェーブフォームモニターを使用）
複数のカメラの黒レベル（ペデスタルレベル）を合わせるときに調整します。
調整は販売店に依頼してください。

カメラまたはマルチハイブリッドコントロールパネルで調整する場合

① レンズをクローズにします。
② サブメニューの明るさ設定（ユーザーモードのときは、アイリス、シャッター、ゲイン設定）で黒レベルを選択します。
③ イエス／ ABC スイッチまたはノー／バースイッチで黒レベルが 5 IRE（0.035 V）になるように調整してください。

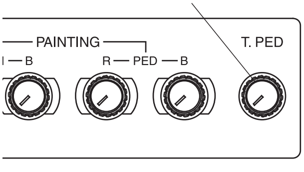


＊＊明るさ　設定＊＊	
映像レベル	± 0
測光ピーク / アベレージ	0
測光エリア	トップカット
オート ND (ELC)	(OFF)
オートゲインアップ	(OFF)
AGC　最大ゲイン	(- - -)
マニュアルゲインアップ	(0dB)
デジタルゲインアップ	0dB
蓄積時間	OFF
黒レベル	± 0
戻る	

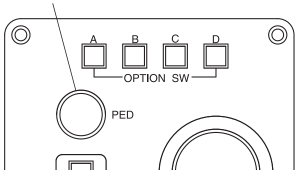


RCU または ROP で調整する場合

トータルペデスタル調整ボリュームまたは PED ダイヤルで黒レベルが 5 IRE になるように調整してください。



リモートコントロールユニット



リモートオペレーションパネル

調整のしかた

■ゲンロック調整

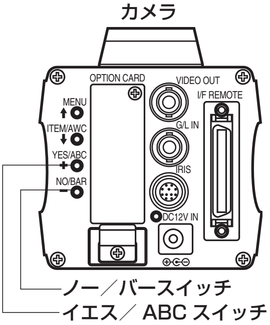
複数のカメラを使用するときや、他の機器と組み合わせるなど、外部同期をかけて位相を合わせるためにはカメラ、RCU、ROP またはマルチハイブリッドコントロールパネルで位相調整をする必要があります。調整は、販売店に依頼してください。

●水平位相調整

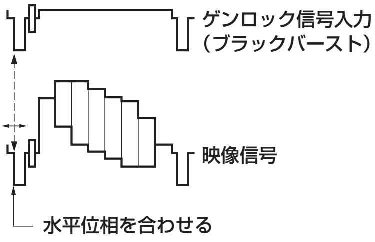
外部同期信号入力（ブラックバースト信号）と映像信号出力の波形を 2 現象オシロスコープで観測し、水平位相が合うようにカメラ、RCU、ROP またはマルチハイブリッドコントロールパネルで調整します。

カメラまたはマルチハイブリッドコントロールパネルで調整する場合

① ノー／バースイッチを約 5 秒以上押し、カラーバーにします。
② サブメニューのゲンロック・カラーバー設定で、「H フェーズ」を選択します。
③ イエス／ ABC スイッチまたはノー／バースイッチで水平位相が合うように調整します。



＊＊ゲンロック・カラーバー　設定＊＊	
H フェーズ	(± 0)
SC コース	(　1)
SC ファイン	(± 0)
カラーバーセットアップ	7.5 IRE
戻る	

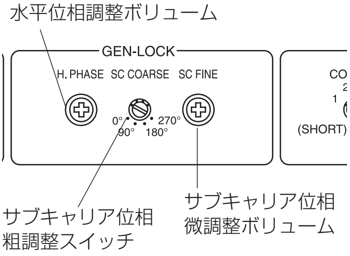


マルチハイブリッドコントロールパネルを使ってのメニュー操作については、マルチハイブリッドコントロールパネルの取扱説明書をご参照ください。

調整のしかた

RCU で調整する場合

水平位相調整ボリュームで調整します。

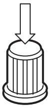


リモートコントロールユニット

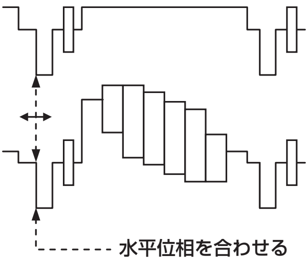
ご注意

水平位相調整を RCU から行う場合、カラーバー／カメラ選択スイッチを BAR にして調整してください。CAM の状態では、水平位相調整はできません。
調整終了後は、カラーバー／カメラ選択スイッチを必ず CAM 側へ戻してください。

ROP で調整する場合



① CAM CONTROL ボタンで調整するカメラを選択します。
② MENU ボタンを押し､LCD パネルにカメラ設定メニューを表示させせます。
③ CONT ダイヤルを回し、G/L SETTING メニューを表示させせます。
④ CONT ダイヤルを垂直方向に押し、LCD の下段に H PHASE を表示させせます。
⑤ G/L 信号（ブラックバースト信号または映像信号（VBS)）と映像信号出力の波形を 2 現象オシロスコープで観測し、下図のように水平位相が合うように CONT ダイヤルで調整します。

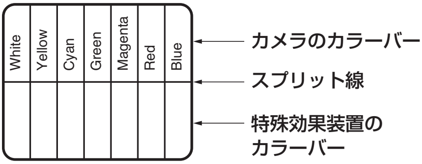


⑥ CAM CONTROL ボタンでカメラを切り換え、それぞれのカメラの水平位相調整を行います。

調整のしかた

●色位相調整※

カラー特殊効果装置のプログラム出力（スプリットされたカラーバー出力）など、基準とする色調に、カメラの色位相を合わせます。



カメラまたはマルチハイブリッドコントロールパネルで調整する場合

① ノー／バースイッチを約 5 秒以上押し、カラーバーにします。
② サブメニューのゲンロック・カラーバー設定で、「SC コース」を選択しイエス／ABC スイッチまたはノー／バースイッチで粗調整をします。
③「SC ファイン」を選択し、イエス／ ABC スイッチまたはノー／バースイッチで色相位が合うように微調整をします。

マルチハイブリッドコントロールパネルを使ってのメニュー操作については、マルチハイブリッドコントロールパネルの取扱説明書をご参照ください。

RCU で調整する場合

「サブキャリア位相粗調整スイッチ」および「サブキャリア位相微調整ボリューム」で調整します。

※ベクトルスコープで色位相調整をしますと、より精度の高い調整ができます。

ご注意

色位相調整を RCU から行う場合、カラーバー／カメラ選択スイッチを BAR にして調整してください。CAM の状態では、色位相調整はできません。
調整終了後は、カラーバー／カメラ選択スイッチを必ず CAM 側へ戻してください。

調整のしかた

ROP で調整する場合

① CAM CONTROL ボタンで調整するカメラを選択します。

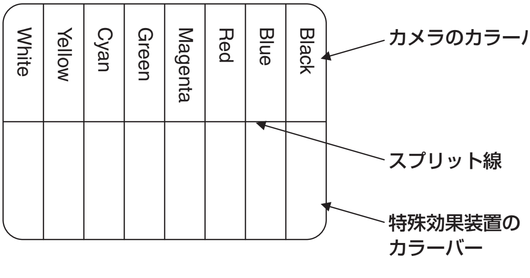
② MENU ボタンを押し、LCD パネルにカメラ設定メニューを表示させます。

③ CONT ダイヤルを回し、G/L SETTING メニューを表示させます。

④ CONTダイヤルを垂直方向に２度押すと、LCDの下段にSC COARSEが表示され、CONT ダイヤルを回すと、サブキャリア位相の粗調整ができます。
３度押すと、SC FINE が表示され、CONT ダイヤルを回すと、サブキャリア位相の微調整ができます。

⑤ ビデオスイッチャーのプログラム出力（スプリットされたカラーバー出力）など、基準とする色調に映像信号出力のサブキャリア（色）位相が合うように、SC COARSE、SC FINE で調整します。
ベクトルスコープで色位相調整をしますと、より精度の高い調整ができます。

⑥ CAM CONTROL ボタンでカメラを切り換え、それぞれのカメラのサブキャリア位相調整を行います。



メニュー項目の設定・変更

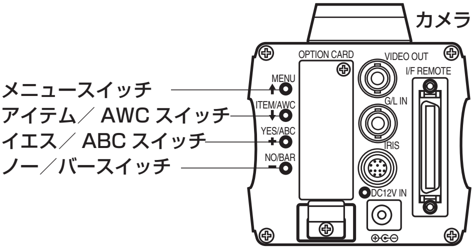
■メニュー項目の設定

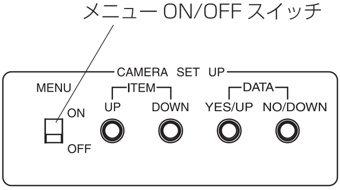
- 本機の４種の使用モード（ハロゲンライト、蛍光灯、屋外、ユーザー）は各々１つのメインメニューを持っています。（45 ページ）
- メインメニューの各項目は更に各々１つのサブメニューを持ち、サブメニューには数個の設定項目があります。
- これらの設定項目は使用モードに合わせて工場出荷時に最適値にプリセットされていますが、実際の撮影状態に合わせて設定、変更できます。

●設定のしかた

カメラ、RCU、マルチハイブリッドコントロールパネルで設定する場合

① カメラ単体の時：メニュースイッチを約５秒以上押し続けます。
RCU の時：メニュー ON/OFF スイッチを ON にします。
マルチハイブリッドコントロールパネルの時：MENU/ ↑ボタンを２秒以上押し続けます。各使用モードのメインメニュー画面が表示されます。
使用モードの選択は 31 ページを参照してください。
② メニュースイッチ、アイテム／ AWC スイッチ、ノー／バースイッチを押すたびに点滅項目が変わります。
③ イエス／ ABC スイッチを押すと、点滅している項目のサブメニュー画面が表示されます。
④ メニュースイッチ、アイテム／ AWC スイッチで設定、変更する項目を選択します。
⑤ イエス／ ABC スイッチ、ノー／バースイッチで設定値を変更します。
⑥ メニュースイッチ、アイテム／ AWC スイッチで「戻る」を選択しイエス／ ABC スイッチを押すと、メインメニュー画面に戻ります。
⑦ 設定が終わったら、
カメラ単体の時：「設定終了」を選択し、イエス／ ABC スイッチを押します。
RCU の時：メニュー ON/OFF スイッチを OFF にします。
以後はカメラは本設定状態で動作します。





リモートコントロールユニット

ROP で設定する場合

ROP を使ってのメニュー設定はできません。各機能の設定は、ROP の LCD パネルで行います。詳細は、ROP の取扱説明書をご参照ください。

メニュー項目の設定・変更

●メインメニュー画面

ハロゲンライト・蛍光灯・屋外モードのメインメニュー

```
＊＊ハロゲンライトモード　設定＊＊

  明るさ　設定
  色　設定
  ゲンロック・カラーバー　設定
  シャープネス　設定
  その他　設定
  オプションカード　1　オプションカード　2
  初期設定に戻す

設定終了
```

撮像状態へ戻る時（カメラ単体の時のみ）　カーソル点滅表示　使用モードを表示します。

ユーザーモードのメインメニュー

```
＊＊ユーザーモード　設定＊＊

  アイリス，シャッター，ゲイン　設定
  色　設定
  ゲンロック・カラーバー　設定
  ディテール 1　設定　ディテール 2　設定
  カラーマトリクス　設定
  その他 1　設定　その他 2　設定
  オプションカード　1　オプションカード　2
  初期設定に戻す
設定終了
```

ご注意

- RCU のメニュー ON/OFF スイッチの位置に関わらず、ビデオ出力にはコンポジット信号が出力されます。
- 設定終了はカメラ単体の時のみ表示します。
- 「オプションカード　1」は、本機へオプションカードを挿入したときのみ表示されます。「オプションカード　2」は、本機へ拡張カードボックスを装着し、オプションカードを挿入したときのみ表示されます。

※カメラからの出力信号がカラーバーの時は、ゲンロック・カラーバー設定画面しか表示されません。

```
＊＊ゲンロック・カラーバー　設定＊＊
  Hフェーズ                    （± 0）
  SC コース                    （  1）
  SC ファイン                  （± 0）
  カラーバーセットアップ        7.5 IRE



戻る
```

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

■ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モードのサブメニュー画面

❶ 明るさ設定画面

	＊＊明るさ　設定＊＊	
1	映像レベル	± 0
2	測光ピーク / アベレージ	0
3	測光エリア	トップカット
4	オート ND (ELC)	(OFF)
5	オートゲインアップ	(OFF)
6	AGC　最大ゲイン	(- - -)
7	マニュアルゲインアップ	(0dB)
8	デジタルゲインアップ	0dB
9	蓄積時間	OFF
10	黒レベル	± 0
	戻る	

❷ 色設定画面

	＊＊色　設定＊＊	
1	色の濃さ	± 0
2	肌色	± 0
3	ホワイトバランス	(AWC A)
4	ATW スピード	- - -
5	ネガ / ポジ	ポジ
	戻る	

❸ ゲンロック・カラーバー設定画面

	＊＊ゲンロック・カラーバー　設定＊＊	
1	H フェーズ	(± 0)
2	SC コース	(　1)
3	SC ファイン	(± 0)
4	カラーバーセットアップ	7.5 IRE
	戻る	

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

❹ シャープネス設定画面

	＊＊シャープネス　設定＊＊	
1	シャープネス / スーパーハード	シャープネス
2	レベル	(High)
3	ノイズキャンセル	OFF
4	クリーン DNR	OFF
5	3D-DNR	OFF
6	肌色シャープネス	Mid
	戻る	

❺ その他設定画面

	＊＊その他　設定＊＊	
1	コントラスト	Mid
2	シャッター	(OFF)
3	シンクロスキャン	- - -
4	映像	ノーマル
5	PC コントロール	9600 bps
6	コンポーネント出力	Y/Pr/Pb
7	デジタルエクステンダー	OFF
8	ファン	Auto
9	オートフォーカス	OFF
10	フィルター	ノーマル
	戻る	

- RCU の時、設定値が（　　）で囲まれた項目は、RCU のスイッチまたはボリュームで設定します。
- 初期設定（出荷時設定）に戻すには、74 ページをご覧ください。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

■設定画面の説明

❶ 明るさ設定画面

1. 映像レベル調整［映像レベル：–50 ～ +50］

オートアイリス／オートゲインアップ／オートND(ELC)の収束レベルを調整します。

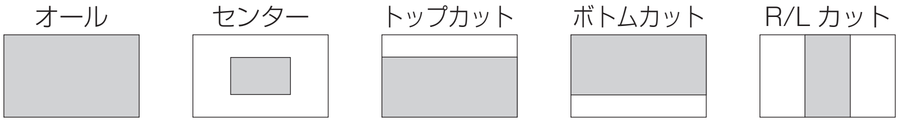
2. 測光検出比率調整［測光ピーク／アベレージ：P50 ～ A50］

オートアイリス／オートゲインアップ／オート ND（ELC）の検出のピーク値（P）と平均値（A）の比率を調整できます。

3. 測光方法選択
［測光エリア：オール、センター、トップカット、ボトムカット、R/L カット］

オートアイリス／オートゲインアップ／オートND(ELC)の測光方法が選択できます。

オール　　　　：全画面測光となり、画面全体を測光します。
センター　　　：中央重点測光となり、上下約 1/3 と、左右 1/3 ずつカットされます。
トップカット：上部 1/3 カット測光となり、上約 1/3 がカットされます。
ボトムカット：下部 1/3 カット測光となり、下約 1/3 がカットされます。
R/L カット　：左右 1/3 カット測光となり、左右約 1/3 ずつカットされます。

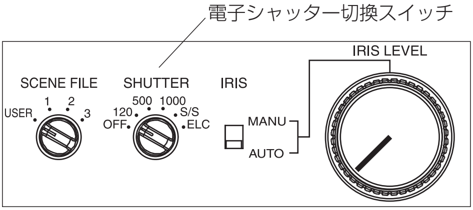


4. オート ND（ELC）選択［オート ND（ELC）：OFF、ON］

CCD 蓄積時間選択（❶-9）が「OFF」、「Auto」以外では、設定できません。
ON　：電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。
OFF：電子シャッターによる、光量の自動調整を行いません。

ご注意

- 「その他設定」サブメニューの電子シャッター選択（❺-2）を「オート ND」にすると、自動的に「ON」になります。「オート ND」以外にすると「OFF」になります。
- RCU の時、電子シャッター切換スイッチを「ELC」にすると「ON」になり、「ELC」以外にすると「OFF」になります。



リモートコントロールユニット

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時の
メニュー項目の設定・変更

5. オートゲインアップ選択［オートゲインアップ：OFF、ON］

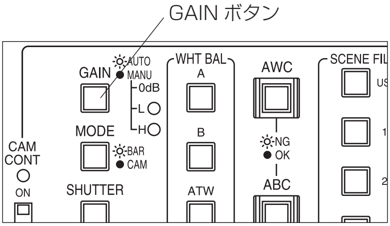
CCD 蓄積時間選択（❶-9）が「Auto」のときは、設定できません。

ON　：光量を自動調整します。オートゲインアップの最大ゲインは、AGC 最大ゲイン選択（❶-6）で調整します。

OFF：光量の自動調整を行いません。

ご注意

- カメラ単体時、RCU、ROP、またはマルチハイブリッドコントロールパネルのレンズ絞り選択スイッチ（IRIS ボタン）が「AUTO」の時、レンズのアイリススイッチがマニュアルになっていると、オートゲインアップが動作しないことがあります。
- マルチハイブリッドコントロールパネルの GAIN ボタンを「AGC」にすると、オートゲインアップ「HIGH」で動作します。



マルチハイブリッドコントロールパネル

6. AGC 最大ゲイン選択

AW-E750、AW-E655、AW-E650：

［AGC　最大ゲイン：6 dB、12 dB、18 dB、24 dB、ナイトアイ L、ナイトアイ H］

AW-E350：［AGC　最大ゲイン：6 dB、12 dB、18 dB、24 dB、ナイトアイ］

オートゲインアップ選択（❶-5）が「ON」のときの最大ゲインアップ量を設定します。

7. マニュアルゲインアップ選択

AW-E750、AW-E655、AW-E650：

［ゲイン：0 dB ～ 30 dB、ナイトアイ L、ナイトアイ H］

AW-E350：［ゲイン：0 dB ～ 30 dB、ナイトアイ］

オートゲインアップ選択（❶-5）で、「OFF」を選択しているときのみ、設定できます。

0 dB　　　　：通常は 0 dB でお使いください。

1 dB ～ 30 dB：暗い場面を撮影するとき、レンズ絞りを解放にしてもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。

AW-E750、AW-E655、AW-E650

ナイトアイ L　：30 dB でもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。

ナイトアイ H　：ナイトアイ L でもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。

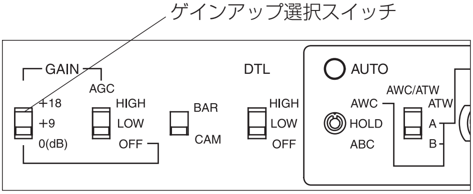
AW-E350

ナイトアイ　　：30 dB でもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時の メニュー項目の設定・変更

ご注意

- RCU の場合「0 dB」「9 dB」「18 dB」のみ設定できます。



リモートコントロールユニット

8. デジタルゲインアップ選択

[デジタルゲインアップ：0 dB、6 dB、12 dB、18 dB、24 dB、30 dB]

オートゲインアップ選択（❶-5）で、「OFF」を選択しているときのみ、設定できます。

0 dB　　　　　：通常は、0 dB でご使用ください。

6 dB ～ 30 dB ：暗い場面を撮影するとき、レンズ絞りを開放にし、マニュアルゲインアップ選択（❶-7）を「ナイトアイ」にしてもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。

9. CCD 蓄積時間選択

[蓄積時間：Auto、OFF、1/30s、1/15s、1/8s、1/4s、1/2s、1s、2s]

CCD の蓄積時間を設定します。

OFF　　　　：通常は「OFF」でご使用ください。

Auto　　　　：ALC → AGC →蓄積とカメラが光量を自動調整します。
オート ND（ELC）選択（❶-4）が「ON」の場合、ELC → ALC → AGC →蓄積と光量を自動調整します。
このとき、電子シャッター選択（❺-2）は変更できません。

1/30s ～ 2s：ゲインアップをしてもなお充分な映像出力を得られない場合に、お使いください。
このとき、オート ND（ELC）選択（❶-4）と電子シャッター選択（❺-2）は「OFF」になり変更できません。

＊映像（CCD 読み出し方法）選択（❺-4）が「ファイン」に設定されている場合は、蓄積時間の設定は、1/15s ～ 2s となり、「ノーマル」に設定されている場合に比べ感度が約 1/2 になります。

10. 黒レベル調整 [黒レベル：−150 ～ +150]

輝度（Y）信号の黒レベル（ペデスタル）を設定できます。

2 台以上のカメラの黒レベルを合わせる時に使います。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

❷ 色設定

1. 色の濃さ調整［色の濃さ：–3 ～ +3］

色の濃さを± 3 段階に調整できます。

2. 肌色調整［肌色：–3 ～ +3］

肌色の色合いを± 3 段階に調整できます。

3. ホワイトバランス選択

［ホワイトバランス：ATW、AWC A、AWC B、P SET 3200K、P SET 5600K］

ATW：常にホワイトバランスが合うように自動動作します。

AWC A、AWC B：ホワイトバランスをセットしておけば、同一条件で使用する場合は、AWC A、AWC B を選択するだけで、改めてホワイトバランスセットの必要はありません。
ユーザーモードの時、または RCU（ROP）の時の赤／青ゲイン調整で AWC 実行後の色の微調整ができます。

P SET 3200K：3200K の照明で調整されたホワイトバランスに設定されます。

P SET 5600K：5600K の照明で調整されたホワイトバランスに設定されます。

ご注意

- RCU、ROP またはマルチハイブリッドコントロールパネルの時「P SET 3200K」、「P SET 5600K」は設定できません。

4. ATW スピード設定

［ATW スピード：SLOW 2、SLOW 1、MIDDLE、FAST 1、FAST 2］

ATW の動作速度をコントロールします。

5. ネガ／ポジ選択［ネガ／ポジ：ポジ、ネガ］

ポジ：通常の映像です。

ネガ：明暗と色を反転した映像になります。

※ネガ映像になるのは、コンポジット信号と Y/C 信号のみです。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

❸ ゲンロック・カラーバー設定

1. 水平位相調整［Hフェーズ：-206 ～ +49］
ゲンロック時の水平位相の調整ができます。

2. 色位相調整［SCコース：1、2、3、4］
ゲンロック時の色位相の粗調整ができます。

3. 色位相微調整［SCファイン：-511 ～ +511］
ゲンロック時の色位相の微調整ができます。

4. カラーバーセットアップ選択［カラーバーセットアップ：0.0 IRE、7.5 IRE］
カラーバーのセットアップレベルを選択できます。

❹ シャープネス設定

1. シャープネス（ディテール）／スーパーハード切換
［シャープネス／スーパーハード：シャープネス、スーパーハード］
「シャープネス」を選択し、シャープネス（ディテール）／スーパーハードレベル調整を「LOW」または「HIGH」にしても輪郭補正が不足する場合は「スーパーハード」にしてください。

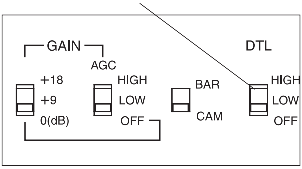
ご注意
シャープネス（ディテール）／スーパーハードレベル調整が「OFF」のときは「シャープネス」「スーパーハード」とも、輪郭補正ははたらきません。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

2. シャープネス（ディテール）／スーパーハードレベル調整
[レベル：OFF、LOW、HIGH]

シャープネス（ディテール）／スーパーハード切換が「シャープネス」のとき、シャープネス（ディテール）レベルの調整ができます。
「スーパーハード」のときは、スーパーハードレベルの調整ができます。
RCU の場合は、輪郭補正切換スイッチ（DTL）で調整できます。
ROP の場合は、DTL ボタンを押す毎に ON/OFF が切り換わります。
ON の時の設定は、LCD パネルで設定します。

輪郭補正切換スイッチ（DTL）



リモートコントロールユニット

3. ノイズキャンセル補正レベル選択［ノイズキャンセル：OFF、LOW、HIGH]

シャープネス（ディテール）／スーパーハードレベル調整（❹-2）が「HIGH」または「LOW」の時の画面ノイズ量を少なくできます。

4. クリーン DNR 選択［クリーン DNR：HIGH、LOW、OFF]

クリーン DNR の効果を選択できます。

5. 3D-DNR 選択［3D-DNR：OFF、Low、Mid、High]

3D-DNR の効果を選択できます。
＊ Mid、High にするとノイズは低減しますが、残像が増えます。

6. 肌色シャープネス選択［肌色シャープネス：LOW、MID、HIGH]

LOW ：肌色のざらつき感を抑えます。
MID ：標準の設定です。
HIGH：肌色の輪郭補正を強調させます。

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

❺ その他設定

1. コントラスト調整［コントラスト：LOW、MID、HIGH］

コントラストを 3 段階に調整できます。

2. 電子シャッター選択

［シャッター：OFF、1/100 ～ 1/10000、シンクロスキャン、オート ND］

OFF　：電子シャッターを OFF にします。

1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
：電子シャッターがそれぞれのシャッタースピードで動作します。50 Hz 地域でご使用の時、1/100 で使用すると蛍光灯によるフリッカが目立たなくなります。

シンクロスキャン：電子シャッターシンクロスキャン設定（❺-1）で設定したシャッタースピードで動作します。

オート ND　：電子シャッターを制御し光量を自動調整します。（ELC）

ご注意

- RCU の場合、「1/250」、「1/2000」、「1/4000」、「1/10000」は設定できません。
- カメラ単体時、RCU、ROP、またはマルチハイブリッドコントロールパネルのレンズ絞り選択スイッチ（IRIS ボタン）が「AUTO」の時、レンズのアイリススイッチが「M」（マニュアル）側になっていると、オート ND が動作しないことがありますので、レンズのアイリススイッチは「A」（オート）にしてください。
- 蛍光灯下で、オート ND にすると、フリッカが増えることがあります。
- 「明るさ設定」サブメニューの、オート ND（ELC）選択を「ON」にすると、自動的に「オート ND」になります。

3. 電子シャッターシンクロスキャン設定［シンクロスキャン：60.34 Hz ～ 15.75 kHz］

電子シャッター選択（❺-2）で「シンクロスキャン」を選択しているときのみ設定できます。

ワークステーションなどの画面を撮す時、シンクロスキャン調整をすることにより、横バー状ノイズを低減させることができます。

※各シャッタースピードおよびシンクロスキャンでの光量設定は下表を参考にしてください。

シャッタースピード	シンクロスキャン	必要な光量比	シャッタースピード	シンクロスキャン	必要な光量比
OFF	—	1	1/1000	984.4 Hz	16
1/100	100.3 Hz	2	1/2000	1.969 kHz	32
1/250	250.0 Hz	4	1/4000	3.938 kHz	64
1/500	492.2 Hz	8	1/10000	7.875 kHz	160

ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モード時のメニュー項目の設定・変更

4. 映像（CCD 読み出し方法）選択［映像：ノーマル、ファイン］

ノーマル：通常の映像です。（CCD の蓄積方法が、フィールド蓄積になります。）
ファイン：垂直解像度が上がります。（フレーム蓄積と電子シャッターにより、残像を増やさずに、垂直解像度が上がります。）

5. PC コントロール通信速度選択
［PC コントロール：1200 bps、2400 bps、4800 bps、9600 bps］

コンピューターからカメラをコントロールする時の通信速度を選択します。

6. コンポーネント出力選択［コンポーネント出力：RGB、Y/Pr/Pb、Y/C］

I/F REMOTE コネクターから出力するコンポーネント信号を RGB、Y/Pr/Pb、Y/C から選択できます。

7. デジタルエクステンダー選択［デジタルエクステンダー：OFF、ON］

OFF：通常は、「OFF」で使用してください。
ON：約 1.5 倍のエクステンダー効果が得られます。
ただし、デジタルエクステンダーを「ON」にすると、解像度が落ちます。

8. ファン選択［ファン：OFF、Auto］（AW-E750、AW-E655 のみ）

OFF：スタジオなどで、ファンの音が気になるときに停止してください。
Auto：温度を自動的に感知し、蓄積モードでは約 10 ℃以上で、蓄積モード以外では約 35 ℃以上でファンが動作します。
通常は、「Auto」でご使用ください。

9. オートフォーカス選択［オートフォーカス：OFF、ON］（AW-E655 のみ）

キヤノン製 AF レンズのズームフォーカスケーブルを AW-E655 の ZOOM/FOCUS コネクターへ接続したとき、オートフォーカスの ON/OFF を制御できます。

10. フィルター選択［フィルター：IR Through、Normal、1/16ND、1/64ND］
（AW-E655 のみ）

IR Through：赤外撮影モードになります。赤外ライトを被写体へ照射してください。
Normal：通常は、「Normal」で使用してください。
1/16ND：1/16 の ND フィルターが入ります。レンズの絞りで絞りきれない場合にご使用ください。
1/64ND：1/64 の ND フィルターが入ります。1/16ND でもレンズの絞りで絞りきれない場合にご使用ください。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

■ユーザーモードのサブメニュー画面

❻ アイリス、シャッター、ゲイン設定画面

＊＊アイリス、シャッター、ゲイン　設定＊＊

No.	項目	設定
1	映像レベル	±０
2	測光ピーク / アベレージ	±０
3	測光エリア	トップカット
4	オートアイリスアジャスト	OFF
5	シャッターモード	(ステップ)
6	ステップ / シンクロスキャン	(OFF)
7	ゲイン	(0dB)
8	デジタルゲインアップ	0dB
9	AGC　最大ゲイン	(- - -)
10	蓄積時間	OFF
	戻る	

❼ 色設定画面

＊＊色　設定＊＊

No.	項目	設定
1	色の濃さ	±０
2	ホワイトバランス	(AWC A)
3	ATW スピード	Mid
4	黒レベル	(± 0)
5	ペインティング	
5	R　ゲイン	(± 0)
5	B　ゲイン	(± 0)
5	R　ペデスタル	(± 0)
5	B　ペデスタル	(± 0)
6	ネガ / ポジ	ポジ
	戻る	

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

❽ ゲンロック・カラーバー設定画面

	＊＊ゲンロック・カラーバー　設定＊＊	
1	H フェーズ	(±0)
2	SC コース	(　1)
3	SC ファイン	(±0)
4	カラーバーセットアップ	7.5 IRE
	戻る	

- RCU の時、設定値が（　　）で囲まれた項目は、RCU のスイッチまたはボリュームで設定します。
- 初期設定（出荷時設定）に戻すには、74 ページをご覧ください。

❾ ディテール設定画面

	＊＊ディテール　1　設定＊＊	
1	ディテール	(High)
2	H ディテールレベル High	11
3	V ディテールレベル High	6
4	H ディテールレベル Low	7
5	V ディテールレベル Low	3
6	ディテールバンド	2
7	ノイズサプレス	3
8	レベルディペンデント	0%
9	ダークディテール	0
	戻る	

	＊＊ディテール　2　設定＊＊	
10	クロマディテール	0
11	肌色ディテール	Mid
12	コーナーディテール	OFF
13	プレシジョンディテール	OFF
	戻る	

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

⑩ カラーマトリクス設定画面

```
＊＊カラーマトリクス　設定　１＊＊

  B＿Mg ゲイン                  ±０
  B＿Mg フェーズ                ±０
  Mg    ゲイン                  ±０
  Mg    フェーズ                ±０
  Mg＿R ゲイン                  ±０
  Mg＿R フェーズ                ±０
  R     ゲイン                  ±０
  R     フェーズ                ±０
```

```
＊＊カラーマトリクス　設定　２＊＊

  R＿Yl ゲイン                  ±０
  R＿Yl フェーズ                ±０
  Yl    ゲイン                  ±０
  Yl    フェーズ                ±０
  Yl＿G ゲイン                  ±０
  Yl＿G フェーズ                ±０
  G     ゲイン                  ±０
  G     フェーズ                ±０
```

```
＊＊カラーマトリクス　設定　３＊＊

  G＿Cy ゲイン                  ±０
  G＿Cy フェーズ                ±０
  Cy    ゲイン                  ±０
  Cy    フェーズ                ±０
  Cy＿B ゲイン                  ±０
  Cy＿B フェーズ                ±０
  B     ゲイン                  ±０
  B     フェーズ                ±０

戻る
```

⓫ その他設定画面

＊＊その他　1　設定＊＊

1	ガンマ	0.45
2	ニーポイント	98%
3	ホワイトクリップ	110%
4	フレア　R	0
	フレア　G	0
	フレア　B	0
5	ブラックストレッチ	OFF
6	クリーン DNR	OFF
7	3D-DNR	OFF
8	2D ローパスフィルタ	OFF
	戻る	

＊＊その他　2　設定＊＊

9	フィールド / フレーム	フィールド
10	PC コントロール	9600bps
11	コンポーネント出力	Y/Pr/Pb
12	デジタルエクステンダー	OFF
13	ファン	Auto
14	オートフォーカス	OFF
15	フィルター	Normal
	戻る	

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

❻ アイリス、シャッター、ゲイン設定

1. 映像レベル調整［映像レベル：–50 ～ +50］

オートアイリス／ AGC ／ ELC の収束レベルを調整します。

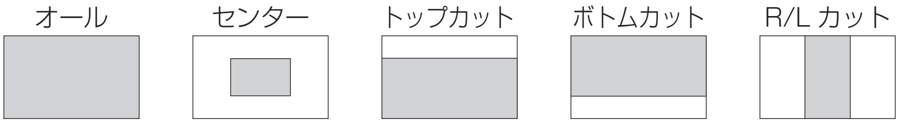
2. 測光検出比率調整［測光ピーク／アベレージ：P50 ～ A50］

オートアイリス／ AGC ／ ELC の検出のピーク値（P）と平均値（A）の比率を調整できます。

3. 測光方法選択［測光エリア：オール、センター、トップカット、ボトムカット、R/L カット］

オートアイリス／ AGC ／ ELC の測光方法が選択できます。

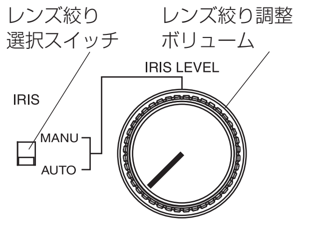
オール　　　：全画面測光となり、画面全体を測光します。
センター　　：中央重点測光となり、上下約 1/3 と、左右 1/3 ずつカットされます。
トップカット：上部 1/3 カット測光となり、上約 1/3 がカットされます。
ボトムカット：下部 1/3 カット測光となり、下約 1/3 がカットされます。
R/L カット　：左右 1/3 カット測光となり、左右約 1/3 ずつカットされます。



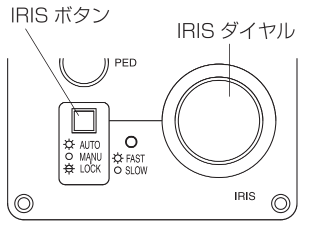
4. オートアイリスレベル微調整［オートアイリスアジャスト：OFF、ON］

ON ：RCU、ROP、マルチハイブリッドコントロールパネルのレンズ絞り選択スイッチ（IRIS ボタン）が「AUTO」のとき、レンズ絞り調整ボリューム（IRIS ダイヤル・IRIS レベルつまみ）でオートアイリスの収束レベルの微調整ができます。

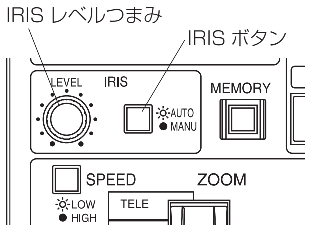
OFF ：RCU、ROP、マルチハイブリッドコントロールパネルのレンズ絞り選択スイッチ（IRIS ボタン）が「AUTO」のとき、レンズ絞り調整ボリューム（IRIS ダイヤル・IRIS レベルつまみ）ははたらきません。



リモートコントロールユニット



リモートオペレーションパネル



マルチハイブリッドコントロールパネル

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

5. 電子シャッターモード選択［シャッターモード：ステップ、ELC、シンクロスキャン］

ステップ　　　　：電子シャッターステップ／シンクロスキャン設定（❻-6）で選択したシャッタースピードで動作します。

ELC　　　　　　：電子シャッターを制御し、光量を自動調整します。

シンクロスキャン：電子シャッターステップ／シンクロスキャン設定（❻-6）で設定したシャッタースピードで動作します。

ご注意

CCD 読み出し方法選択（⓫-9）で「フレーム 1」を選択すると、電子シャッターモードは設定できません。

6. 電子シャッターステップ／シンクロスキャン設定
［ステップ／シンクロスキャン：OFF、1/100 ～ 1/10000（ステップ）、
60.34 Hz ～ 15.75 kHz（シンクロスキャン）］

電子シャッターモード選択（❻-5）が「ステップ」または「シンクロスキャン」のとき設定できます。

・電子シャッターモード選択（❻-5）が「ステップ」のとき：

OFF：電子シャッターを OFF にします。

1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000
：電子シャッターをそれぞれのシャッタースピードで動作させます。

・電子シャッターモード選択（❻-5）が「シンクロスキャン」のとき
：ワークステーションなどの画面を撮す時、シンクロスキャン調整をすることにより、横バー上ノイズを低減させることができます。

※各シャッタースピードおよび、シンクロスキャンでの光量設定は下表を参考にしてください。

シャッタースピード	シンクロスキャン	必要な光量比	シャッタースピード	シンクロスキャン	必要な光量比
OFF	—	1	1/1000	984.4 Hz	16
1/100	100.3 Hz	2	1/2000	1.969 kHz	32
1/250	250.0 Hz	4	1/4000	3.938 kHz	64
1/500	492.2 Hz	8	1/10000	7.875 kHz	160

ご注意

- RCU の場合、「1/250」、「1/2000」、「1/4000」、「1/10000」は設定できません。
- カメラ単体時、RCU、ROP、またはマルチハイブリッドコントロールパネルのレンズ絞り選択スイッチ（IRIS ボタン）が「AUTO」の時、レンズのアイリススイッチが「M」（マニュアル）側になっていると、ELC が動作しないことがありますので、レンズのアイリススイッチは「A」（オート）にしてください。
- 蛍光灯下で、ELC にすると、フリッカが増えることがあります。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

7. ゲイン選択

AW-E750、AW-E655、AW-E650：
[ゲイン：Auto、0 dB ～ 30 dB、ナイトアイ L、ナイトアイ H]
AW-E350：[ゲイン：Auto、0 dB ～ 30 dB、ナイトアイ]

CCD 蓄積時間選択（❻-10）が「Auto」の場合、設定にかかわらず「Auto」になります。

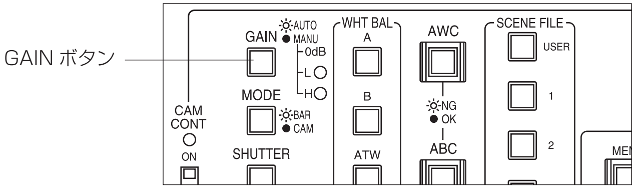
Auto　　　　　：光量を自動調整します。
0 dB　　　　　：通常は、0 dB でお使いください。
1 dB ～ 30 dB ：暗い場面を撮影するとき、レンズ絞りを開放にしてもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。

AW-E750、AW-E655、AW-E650
ナイトアイ L　　：30 dB でもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。
ナイトアイ H　　：ナイトアイ L でもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。

AW-E350
ナイトアイ　　　：30 dB でもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。

ご注意

- RCU の場合、「0 dB」「9 dB」「18 dB」「AGC LOW」「AGC HIGH」のみ設定できます。カメラ単体時、RCU、ROP、またはマルチハイブリッドコントロールパネルのレンズ絞り選択スイッチ（IRIS ボタン）が「AUTO」の時、レンズのアイリススイッチがマニュアルになっていると AGC が動作しないことがあります。
- マルチハイブリッドコントロールパネルの場合には、「AGC」にすると「AGC HIGH」で動作します。GAIN ボタンは、「0 dB」のとき「0 dB」、「LOW」のとき「9 dB」、「HIGH」のとき「18 dB」になります。



マルチハイブリッドコントロールパネル

マルチハイブリッドコントロールパネルの場合、GAIN ボタンを押す毎に、0 dB → LOW（9 dB）→ HIGH（18 dB）→ AGC（AGC HIGH）と切り換わります。
ROP の場合、0、L、M、H、AGC の 5 つのボタンで設定します。
L、M、H、AGC については、ROP の LCD 画面でゲインアップ量を設定できます。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

8. デジタルゲインアップ選択［0 dB、6 dB、12 dB、18 dB、24 dB、30 dB］
ゲイン選択（❻-7）が「オート」以外のとき、設定できます。
0 dB　　　　　：通常は、0 dB でご使用ください。
6 dB ～ 30 dB ：暗い場面を撮影するとき、レンズ絞りを開放にし、ゲイン選択（❻-7）を「ナイトアイ」にしてもなお充分な映像出力が得られない場合にお使いください。

9. AGC 最大ゲイン選択
AW-E750、AW-E655、AW-E650：
［AGC　最大ゲイン：6 dB、12 dB、18 dB、24 dB、ナイトアイ L、ナイトアイ H］
AW-E350：［AGC　最大ゲイン：6 dB、12 dB、18 dB、24 dB、ナイトアイ］
ゲイン選択（❻-7）がオートのときの最大ゲインアップ量を設定します。

10. CCD 蓄積時間選択
［蓄積時間：Auto、OFF、1/30s、1/15s、1/8s、1/4s、1/2s、1s、2s］
CCD の蓄積時間を設定します。
OFF　　　　　：通常は「OFF」でご使用ください。
Auto　　　　　：ALC → AGC →蓄積とカメラが光量を自動調整します。
シャッターモード選択（❻-5）「ELC」の場合、ELC → ALC → AGC →蓄積と光量を自動調整します。
このとき、シャッターモード選択（❻-5）は変更できません。
1/30s ～ 2s：ゲインアップをしてもなお充分な映像出力を得られない場合に、お使いください。
このとき、電子シャッターは OFF になり、シャッターモード選択（❻-5）と電子シャッターステップ／シンクロスキャン設定（❻-6）は変更できません。

＊ CCD 読み出し方法選択（⓫-9）を「フレーム 1」「フレーム 2」にしている場合は、蓄積時間の設定は、1/15s ～ 2s となり、CCD 読み出し方法選択（⓫-9）を「フィールド」にしている場合に比べ、感度が約 1/2 になります。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

❼ 色設定

1. 色の濃さ調整［色の濃さ：-3 ～ +3］

色の濃さを± 3 段階に調整できます。

2. ホワイトバランス選択

［ホワイトバランス：ATW、AWC A、AWC B、P SET 3200K、P SET 5600K］

ATW：常にホワイトバランスが合うように自動動作します。

AWC A、AWC B：A/B で 2 ケ所の色温度条件を記憶しておくことができます。ホワイトバランスをセットしておけば、同一条件で使用する場合は、AWC A、AWC B を選択するだけで、改めてホワイトバランスセットの必要はありません。
また、ペインティング調整の R/B ゲインあるいは RCU（ROP）の赤・青ゲイン調整ボリューム（R/B GAIN ダイヤル）で AWC 実行後の色の微調整ができます。

P SET 3200K：3200K の照明で調整されたホワイトバランスに設定されます。

P SET 5600K：5600K の照明で調整されたホワイトバランスに設定されます。

ご注意

RCU、ROP、またはマルチハイブリッドコントロールパネルの時、「P SET 3200K」、「P SET 5600K」は設定できません。

3. ATW スピード設定［ATW スピード：SLOW 2、SLOW 1、Mid、FAST 1、FAST 2］

ATW の動作速度をコントロールします。

4. 黒レベル調整［黒レベル：-150 ～ +150］

輝度（Y）信号の黒レベル（ペデスタルレベル）の設定を行います。
2 台以上のカメラの黒レベルを合わせる時に使います。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

5. ペインティング調整

[ペインティング　R ゲイン、B ゲイン、R ペデスタル、B ペデスタル：-150 ～ +150]

R ゲイン、B ゲイン：

ホワイトバランス選択で「AWC A」、「AWC B」を選択している時、AWC 後のホワイトバランスの微調整ができます。

RCU または ROP の時は、赤・青ゲイン調整ボリュームまたは R/B GAIN ダイヤルで調整します。

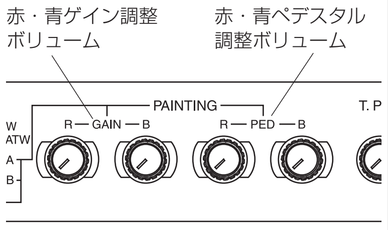
カメラ単体の時、AWC を実行すると、設定値は ±0 に戻ります。

R ペデスタル、B ペデスタル：

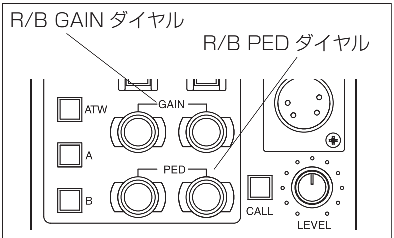
ABC 後のブラックバランスの微調整ができます。

RCU または ROP の時は、赤・青ペデスタル調整ボリュームまたは R/B PED ダイヤルで調整します。

カメラ単体の時、ABC を実行すると、設定値は ±0 に戻ります。



リモートコントロールユニット



リモートオペレーションパネル

6. ネガ／ポジ選択［ネガ／ポジ：ポジ、ネガ］

ポジ：通常の映像です。

ネガ：明暗と色を反転した映像になります。

※ネガ映像になるのは、コンポジット信号と Y/C 信号のみです。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

❽ ゲンロック・カラーバー設定

1. 水平位相調整［H フェーズ：–206 ～ +49］

ゲンロック時の水平位相の調整ができます。

2. 色位相調整［SC コース：1、2、3、4］

ゲンロック時の色位相の粗調整ができます。

3. 色位相微調整［SC ファイン：–511 ～ +511］

ゲンロック時の色位相の微調整ができます。

4. カラーバーセットアップ選択［カラーバーセットアップ：0.0 IRE、7.5 IRE］

カラーバーのセットアップレベルを選択できます。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

❾ ディテール設定

1. ディテールレベル選択［ディティール：OFF、Low、High］

輪郭補正量を選択できます。

水平／垂直ディテールレベル HIGH/LOW 設定で設定したレベルでディテールが動作します。

2. 水平ディテールレベル HIGH 設定　［H ディテールレベル　HIGH：「LOW」+1 ～ +63］
3. 垂直ディテールレベル HIGH 設定　［V ディテールレベル　HIGH：「LOW」+1 ～ +31］
4. 水平ディテールレベル LOW 設定［H ディテールレベル　LOW：0 ～「HIGH」－1］
5. 垂直ディテールレベル LOW 設定［V ディテールレベル　LOW：0 ～「HIGH」－1］

ディテールレベル選択（❾-1）の「HIGH」、「LOW」の水平（H）および垂直（V）方向のディテールレベルが設定できます。

水平（H）、垂直（V）とも、「HIGH」の設定が「LOW」の設定よりも「1」以上大きくなければなりません。

6. ディテールバンド選択［ディテールバンド：1 ～ 5］

ディテールレベル選択（❾-1）が、「HIGH」または「LOW」の時の輪郭補正帯域を設定できます。設定値が大きいほど、より細かなディテールがつきます。

7. ノイズサプレス補正レベル調整［ノイズサプレス：1 ～ 10］

ディテールレベル選択（❾-1）が「HIGH」または「LOW」の時の画面ノイズ量を少なくできます。ただし、大きくしすぎると細かい被写体のシャープさが減少します。

8. レベルディペンデント補正レベル調整［レベルディペンデント：0 %～ 25 %］

被写体暗部のディテールによる画面ノイズ量を低減できます。

ただし、設定を大きくしすぎると髪の毛などのシャープさが欠けることがあります。

9. ダークディテール補正レベル調整［ダークディテール：0 ～ 5］

被写体暗部の輪郭を強調できます。

レベルディペンデント補正レベル調整（❾-9）が「0 %」のときのみ設定できます。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

10.クロマディテール補正レベル調整［クロマディテール：0 ～ 15］

被写体の高彩度部の輪郭を強調できます。

11.肌色ディテールレベル選択［肌色ディテール：Low、Mid、High］

Low ：肌色のざらつき感を抑えます。

Mid ：標準の設定です。

High：肌色の輪郭を強調させます。

12.コーナーディテール選択［コーナーディテール：OFF、ON］

ディテールレベル選択（❾-1）が、「HIGH」または「LOW」の時、周辺部分の解像感を向上させるコーナーディテールの ON/OFF が設定できます。

13.プレシジョンディテールレベル選択［プレシジョンディテール：OFF、LOW、HIGH］

ディテールの幅を細くし、ディテールによるギラつきを抑えます。

⑩ カラーマトリクス設定

B_Mg	ゲイン	：青色とマゼンタの中間色の増減を行います。
B_Mg	フェーズ	：青色とマゼンタの中間色の色相を可変します。
Mg	ゲイン	：マゼンタの増減を行います。
Mg	フェーズ	：マゼンタの色相を可変します。
Mg_R	ゲイン	：マゼンタと赤の中間色の増減を行います。
Mg_R	フェーズ	：マゼンタと赤の中間色の色相を可変します。
R	ゲイン	：赤の増減を行います。
R	フェーズ	：赤の色相を可変します。
R-Yl	ゲイン	：赤と黄の中間色の増減を行います。
R-Yl	フェーズ	：赤と黄の中間色の色相を可変します。
Yl	ゲイン	：黄の中間色の増減を行います。
Yl	フェーズ	：黄の色相を可変します。
Yl_G	ゲイン	：黄と緑の中間色の増減を行います。
Yl_G	フェーズ	：黄と緑の中間色の色相を可変します。
G	ゲイン	：緑の増減を行います。
G	フェーズ	：緑の色相を可変します。
G_Cy	ゲイン	：緑とシアンの中間色の増減を行います。
G_Cy	フェーズ	：緑とシアンの色相を可変します。
Cy	ゲイン	：シアンの増減を行います。
Cy	フェーズ	：シアンの色相を可変します。
Cy_B	ゲイン	：シアンと青の中間色の増減を行います。
Cy_B	フェーズ	：シアンと青の中間色の色相を可変します。
B	ゲイン	：青とマゼンタの中間色の増減を行います。
B	フェーズ	：青とマゼンタの中間色の色相を可変します。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

⑪ その他設定

1. ガンマ補正レベル設定［ガンマ：0.35 ～ 0.55］
ガンマ補正レベルを設定できます。

2. ニー補正レベル設定［ニーポイント：88 %～ 98 %、ダイナミック］
88 %～ 98 %：ニー補正される映像信号のレベル（ニーポイント）を設定できます。
ダイナミック：光量に合わせて、ニー補正レベルを自動調整します。

3. ホワイトクリップレベル設定［ホワイトクリップ：95 %～ 110 %］
ホワイトクリップされる映像信号のピークレベルが設定できます。

4. フレア補正レベル調整［フレア R/G/B：0 ～ 100］
フレア補正レベルの調整ができます。
※フレア補正レベルは、工場出荷時にあらかじめ調整されています。

5. ブラックストレッチ選択［ブラックストレッチ：ON、OFF］
低照度時の黒つぶれを補正する、ブラックストレッチの ON/OFF が設定できます。

6. クリーン DNR 選択［クリーン DNR：HIGH、LOW、OFF］
クリーン DNR の効果を選択できます。

7. 3D-DNR 選択［3D-DNR：OFF、Low、Mid、High］
3D-DNR の効果を選択できます。
＊ Mid、High にするとノイズは低減しますが、残像が増えます。

8. 2D ローパスフィルター［2D ローパスフィルター：OFF、LOW、HIGH］
モアレ、クロスカラー（色にじみ）を軽減する 2 次元ローパスフィルターの設定ができます。

9. CCD 読み出し方法選択［フィールド／フレーム：フィールド、フレーム 1、フレーム 2］
フィールド：CCD の蓄積方法が、フィールド蓄積になります。
フレーム 1：フレーム蓄積になり垂直解像度が上がります。
フレーム 2：フレーム蓄積と電子シャッターにより、残像を増やさずに、垂直解像度が上がります。

ユーザーモード時のメニュー項目の設定・変更

10.PC コントロール通信速度選択
[PC コントロール：1200 bps、2400 bps、4800 bps、9600 bps]
コンピューターからカメラをコントロールする時の通信速度を選択します。

11.コンポーネント出力選択［コンポーネント出力：RGB、Y/Pr/Pb、Y/C]
I/F REMOTE コネクターから出力するコンポーネント信号を RGB、Y/Pr/Pb、Y/C から選択できます。

12.デジタルエクステンダー選択［デジタルエクステンダー：OFF、ON]
OFF：通常は、「OFF」で使用してください。
ON：約 1.5 倍のエクステンダー効果が得られます。
ただし、デジタルエクステンダーを「ON」にすると、解像度が落ちます。

13.ファン選択［ファン：OFF、Auto]（AW-E750、AW-E655）
OFF：スタジオなどで、ファンの音が気になるときに停止してください。
Auto：温度を自動的に感知し、蓄積モードでは約 10 ℃以上で、蓄積モード以外では約 35 ℃以上でファンが動作します。
通常は、「Auto」でご使用ください。

14.オートフォーカス選択［オートフォーカス：OFF、ON]（AW-E655）
キヤノン製 AF レンズのズームフォーカスケーブルを AW-E655 の ZOOM/FOCUS コネクターへ接続したとき、オートフォーカスの ON/OFF を制御できます。

15.フィルター選択［フィルター：IR Through、Normal、1/16ND、1/64ND]
IR Through：赤外撮影モードになります。赤外ライトを被写体へ照射してください。
Normal：通常は、「Normal」で使用してください。
1/16ND：1/16 の ND になります。レンズの絞りで絞りきれない場合にご使用ください。
1/64ND：1/64 の ND になります。1/16ND でもレンズの絞りで絞りきれない場合にご使用ください。

オプションカードの設定・変更

⓬ オプションカード設定サブメニュー

オプションカードスロットにスタジオカード（AW-PB506A、AW-PB305A）を挿入したときに表示されます。

```
＊＊オプションカード設定＊＊

1 ----- ゼブラインジケーター          ON
2 -----   レベル                      90%
3 ----- セーフティーゾーン             1
4 ---   EVF 出力                       Y

戻る
```

＊下記のサブメニューは、AW-E650 に ZOOM/FOCUS コネクターを備えたオプションカード（AW-PB504）を挿入したときのみに表示されます。

```
＊＊オプションカード設定＊＊

5 ----- オートフォーカス              OFF

戻る
```

1. ゼブラインジケーター設定［ゼブラインジケーター：ON、OFF］

ビューファインダーへのゼブラパターン表示を設定します。

ON　：ビューファインダーにゼブラパターンを表示します。

OFF：ビューファインダーにゼブラパターンを表示しません。

＊この設定を「ON」にしても、EVF 出力設定（⓬-4）で「CVBS」を選択していると、ゼブラパターンはビューファインダーに表示されません。

オプションカードの設定・変更

2. ゼブラレベル設定［レベル：70 % ～ 110 %］

ゼブラパターンを表示し、輝度レベルの目安にすることができます。

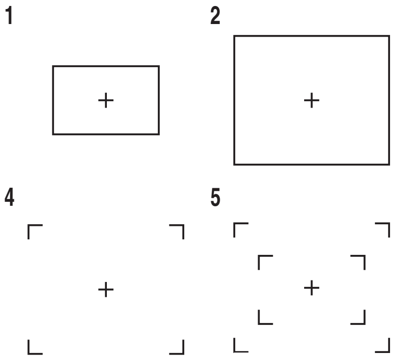
＊ゼブラインジケーター設定（⓬-1）が「ON」のときに設定できます。

3. セーフティーゾーン設定［セーフティーゾーン：OFF、1、2、3、4、5］

ビューファインダーに表示されるセーフティーゾーンの種類を選択します。

「OFF」にすると、セーフティーゾーンは表示されません。

＊セーフティーゾーンとセンターマーカーは、電気的な位置を示すもので、光学的な位置とは異なる場合があります。



内枠は約 90 %、外枠は約 95 %のセーフティーゾーンになります。

4. EVF 出力設定［EVF 出力：Y、CVBS］

ビューファインダーに出力する信号を設定します。

Y　　：輝度信号をビューファインダーに出力します。

CVBS：カラー信号をビューファインダーに出力します。

＊「CVBS」を選択した場合、ゼブラパターンがビューファインダーに表示されません。

5. オートフォーカス［オートフォーカス：OFF、ON］

キヤノン製 AF レンズのズームフォーカスケーブルをオプションカード ZOOM/FOCUS コネクターへ接続したとき、オートフォーカスの ON/OFF を制御できます。

初期設定に戻すには

■初期設定に戻すには

それぞれの使用モードで、設定を間違えた時などに、出荷時の設定に戻すことができます。

①それぞれの使用モードのメインメニューで「初期設定に戻す」を選択し、イエス／ABC スイッチを押すと、右のような、「初期設定に戻す」サブメニュー画面が約 10 秒間表示されます。

「初期設定に戻す」サブメニュー

```
＊＊初期設定に戻す＊＊
（ハロゲンライトモード　設定）

初期設定に戻しますか？

      戻す：YES スイッチ
      中止： NO スイッチ
```

使用モードを表示します

②「初期設定に戻す」サブメニュー画面が表示されてから、約 10 秒以内にイエス／ABC スイッチを押すと、設定が初期化され、右のような画面を表示してメインメニューに戻ります。

```
ハロゲンライトモード　設定

初期設定に戻しました
```

③「初期設定に戻す」サブメニュー画面が表示されてからノー／バースイッチを押すか、あるいは約 10 秒以内にイエス／ABC スイッチを押さないと、右のような画面を表示し、設定の初期化を行わずにメインメニューに戻ります。

```
ハロゲンライトモード　設定

設定を中止しました
```

初期設定に戻すには

■初期設定値（出荷時設定値）

●ハロゲンライト、蛍光灯、屋外モードの初期設定値

	項　　目	ハロゲンライトモード	蛍光灯モード	屋外モード
明るさ設定	映像レベル	±0	±0	±0
	測光ピーク／アベレージ	0	0	0
	測光エリア	トップカット	トップカット	トップカット
	オート ND（ELC）	OFF	OFF	ON
	オートゲインアップ	OFF	OFF	ON
	AGC　最大ゲイン	―――	―――	ナイトアイ　H＊1 ナイトアイ＊2
	マニュアルゲインアップ	0dB	0dB	―――
	デジタルゲインアップ	0dB	0dB	―――
	蓄積時間	OFF	OFF	OFF
	黒レベル	±0	±0	-40
色　設定	色の濃さ	±0	±0	±0
	肌色	±0	±0	±0
	ホワイトバランス	AWC A	AWC A	ATW
	ATW スピード	―――	―――	Mid
	ネガ／ポジ	ポジ	ポジ	ポジ
ゲンロック・カラーバー設定	H フェーズ	±0	±0	±0
	SC コース	1	1	1
	SC ファイン	±0	±0	±0
	カラーバーセットアップ	7.5 IRE	7.5 IRE	7.5 IRE
シャープネス（DTL）設定	シャープネス／スーパーハード	シャープネス	シャープネス	シャープネス
	レベル	High	High	High
	ノイズキャンセル	OFF	OFF	OFF
	クリーン DNR	OFF	OFF	OFF
	3D-DNR	OFF	OFF	OFF
	肌色シャープネス	Mid	Mid	Mid
その他設定	コントラスト	Mid	Mid	Mid
	シャッター	OFF	OFF	オート ND
	シンクロスキャン	―――	―――	―――
	映像	ノーマル	ノーマル	ノーマル
	PC コントロール	9600bps	9600bps	9600bps
	コンポーネント出力	Y/Pr/Pb	Y/Pr/Pb	Y/Pr/Pb
	デジタルエクステンダー	OFF	OFF	OFF
	ファン	Auto	Auto	Auto
	オートフォーカス	OFF	OFF	OFF
	フィルター	ノーマル	ノーマル	ノーマル

＊ 1：AW-E750、AW-E655、AW-E650　　＊ 2：AW-E350

ご注意

オプションカードを使用している時、「初期設定に戻す」操作を行っても「オプションカード設定」サブメニューは初期設定に戻りません。

初期設定に戻すには

●ユーザーモードの初期設定値

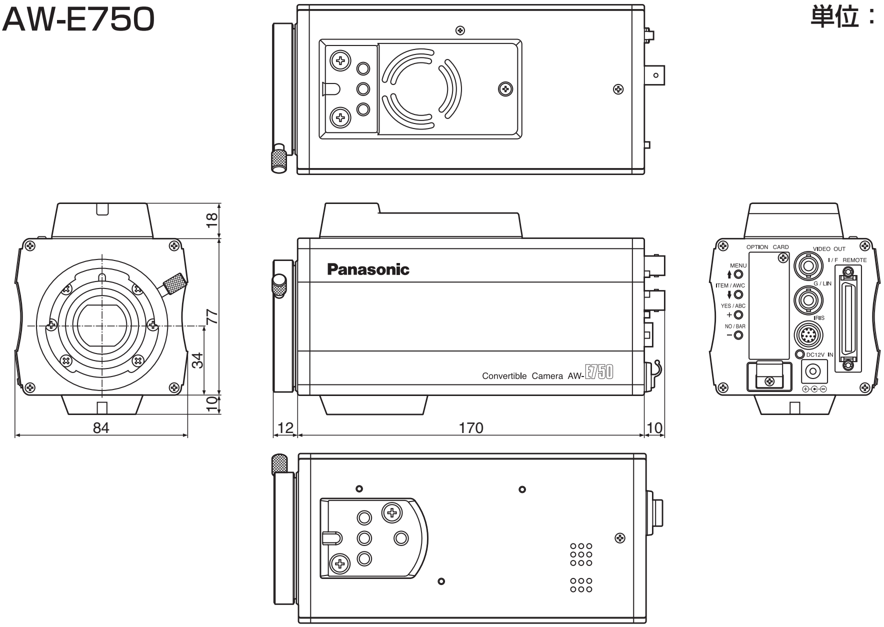
	項　　目	ユーザーモード
アイリス、シャッター、ゲイン設定	映像レベル	±0
	測光ピーク／アベレージ	0
	測光エリア	トップカット
	オートアイリスアジャスト	OFF
	シャッターモード	ステップ
	ステップ／シンクロスキャン	OFF
	ゲイン	0dB
	デジタルゲインアップ	0dB
	AGC　最大ゲイン	ーーー
	蓄積時間	OFF
色　設定	色の濃さ	+2
	ホワイトバランス	AWC A
	ATW スピード	Mid
	黒レベル	±0
	ペインティング	
	R ゲイン	±0
	B ゲイン	±0
	R ペデスタル	±0
	B ペデスタル	±0
	ネガ / ポジ	ポジ
ゲンロック・カラーバー設定	H フェーズ	±0
	SC コース	1
	SC ファイン	±0
	カラーバーセットアップ	7.5 IRE
ディテール 1 設定	ディテール	High
	H ディテールレベル High	15
	V ディテールレベル High	12
	H ディテールレベル Low	8
	V ディテールレベル Low	7
	ディテールバンド	2
	ノイズサプレス	3
	レベルディペンデント	0%
	ダークディテール	0
ディテール 2 設定	クロマディテール	0
	肌色ディテール	Mid
	コーナーディテール	OFF
	プレシジョンディテール	OFF
カラーマトリクス設定 1	B_Mg　ゲイン	±0
	B_Mg　フェーズ	±0
	Mg　ゲイン	+27
	Mg　フェーズ	±0
	Mg_R　ゲイン	±0
	Mg_R　フェーズ	±0
	R　ゲイン	+15
	R　フェーズ	±0

	項　　目	ユーザーモード
カラーマトリクス設定 2	R_YI　ゲイン	±0
	R_YI　フェーズ	±0
	YI　ゲイン	+18
	YI　フェーズ	+6
	YI_G　ゲイン	±0
	YI_G　フェーズ	±0
	G　ゲイン	+30
	G　フェーズ	+112
カラーマトリクス設定 3	G_Cy　ゲイン	±0
	G_Cy　フェーズ	±0
	Cy　ゲイン	+44
	Cy　フェーズ	-15
	Cy_B　ゲイン	±0
	Cy_B　フェーズ	±0
	B　ゲイン	-20
	B　フェーズ	+34
その他 1 設定	ガンマ	0.45
	ニーポイント	88%
	ホワイトクリップ	110%
	フレア R	0
	フレア G	0
	フレア B	0
	ブラックストレッチ	OFF
	クリーン DNR	OFF
	3D-DNR	OFF
	2D ローパスフィルタ	OFF
その他 2 設定	フィールド／フレーム	フィールド
	PC コントロール	9600bps
	コンポーネント出力	Y/Pr/Pb
	デジタルエクステンダー	OFF
	ファン	Auto
	オートフォーカス	OFF
	フィルター	ノーマル

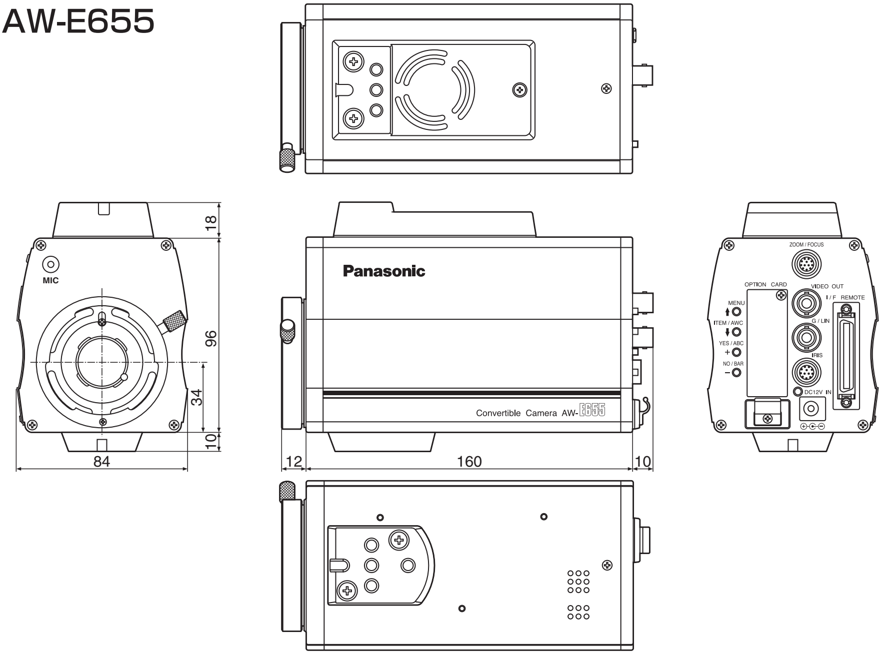
外形寸法図

単位：mm

■ AW-E750



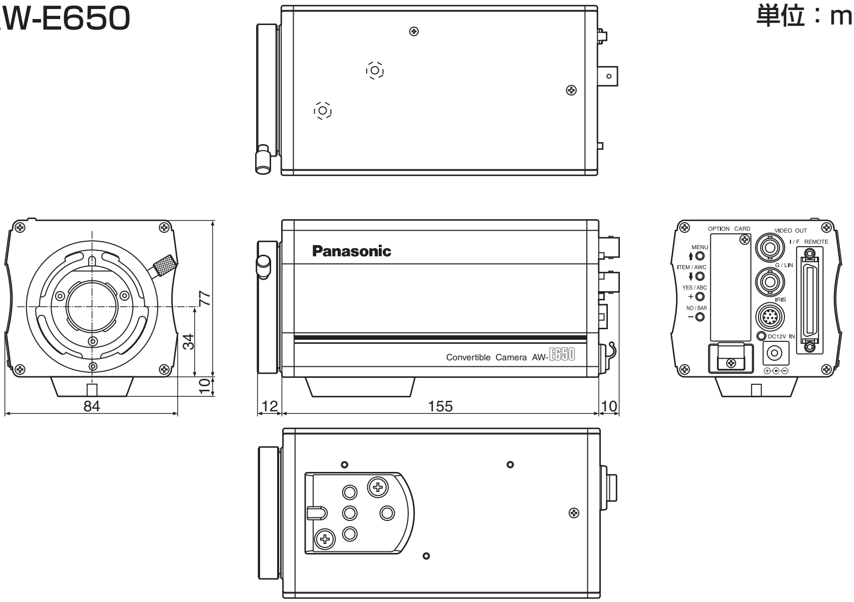
■ AW-E655



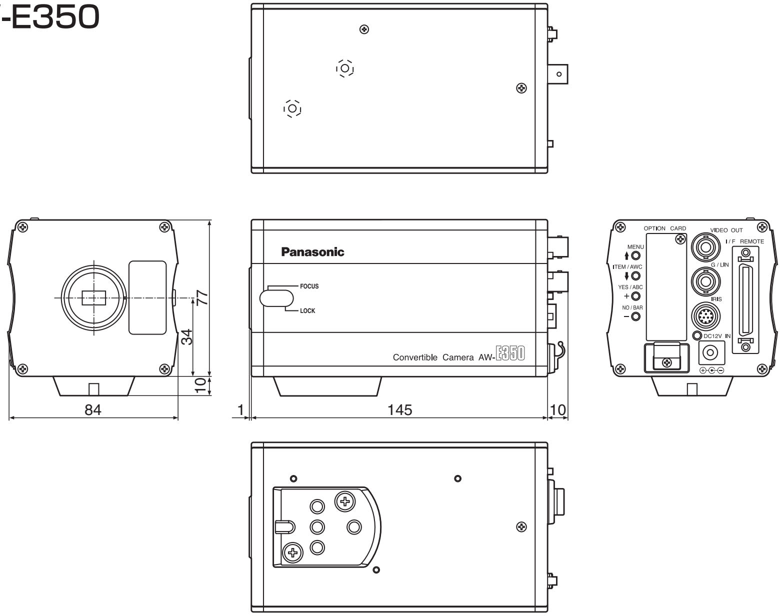
外形寸法図

■ AW-E650

単位：mm



■ AW-E350



定格

電源：DC 12 V　消費電力：12.6 W (AW-E750)、12.0 W (AW-E655)

▭ は安全項目です。

	AW-E750	AW-E655
光学系	2/3 型プリズム　F1.4	1/2 型プリズム　F1.4
撮像素子	2/3 型・インターライン型 CCD	1/2 型・インターライン型 CCD
有効画素数	768 × 494（約 38 万画素）	
総画素数	811 × 508（約 41 万画素）	
走査方式	走査線数 525 本 60 フィールド 30 フレーム	
同期方式	内部同期　EIA 標準／外部同期　BBS または VBS（BNC×1、Dsub 50P×1）	
映像出力	コンポジット：1.0 V [p-p]/75 Ω（BNC×1、Dsub 50P×1） Y/C　Y:1.0 V [p-p]/75 Ω、C:0.286 V [p-p]/75 Ω（バースト）（Dsub 50P×1） Y/Pr/Pb　Y：1 V [p-p]/75 Ω、Pr、Pb：0.7 V [p-p]/75 Ω（Dsub 50P×1） RGB　G：1 V [p-p]/75 Ω、RB：0.7 V [p-p]/75 Ω（Dsub 50P×1）	
標準照度・色温度	2,000 lx（F14、3,200K）	
最低照度	0.00005 lx F1.4、NightEye、デジタル 30 dB 蓄積 2s 出力 70 % 以上	
S/N 比	67 dB（Y 信号、DTL OFF、DNR ON）	
水平解像度	850TV 本（Hi Band DTL ON、中心部）	
レジストレーション	0.05 %（全画面　ただし、レンズの影響は除く）	
幾何学歪	0 %	
輪郭補正	水平、垂直（2H）	
ホワイトバランス	AWC A、AWC B（R/B ゲイン、ペインティング）、ATW、3,200K、5,600K プリセット	
ブラックバランス	オート（R/B ペデスタル　ペインティング機能）	
クロマ量可変	7 段階可変	
エンコード方式	OFF、Low、High	
ゲイン切替	0 ～ 30 dB ステップ、AGC、ナイトアイ L/H	
電子シャッター	1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000 ELC、シンクロスキャン（60.34 Hz ～ 15.75 KHz）	
CCD 読み出し切換	フィールド、フレーム 1、フレーム 2	
カラーバー	SMPTE	
レンズマウント	2/3 型バヨネットマウント	1/2 型バヨネットマウント
レンズ絞り	オート、マニュアル（マニュアルはリモコン時のみ）アジャスト ON/OFF	
内蔵フィルター	---	IR スルー、ノーマル、1/16ND、1/64ND
切換スイッチ	MENU（↑） ITEM/AWC（↓）（AWC：メニュー画面を出していないとき） YES/ABC（+）（ABC：メニュー画面を出していないとき） NO/BAR（-）（BAR：メニュー画面を出していないとき）	
入出力コネクター	VIDEO OUT BNC コネクター G/L IN BNC コネクター IRIS 12P 丸型コネクター DC12V IN DC コネクター I/F REMOTE 50P Dsub コネクター	VIDEO OUT BNC コネクター G/L IN BNC コネクター IRIS 12P 丸型コネクター DC12V IN DC コネクター I/F REMOTE 50P Dsub コネクター ZOOM/FOCUS 12P 丸型コネクター
表示	赤色 LED　点灯：POWER ON	
許容温度	保存温度　-20 ℃～ +60 ℃ 性能保証温度　+5 ℃～ 35 ℃ 動作保証温度　-10 ℃～ +45 ℃	
許容湿度	保存　20 %～ 90 % 動作　20 %～ 90 %	
寸法（幅×高さ×奥行き）	84 × 95 × 192 mm	84 × 114 × 182 mm
質量	1.1 kg	1.2 kg

定格

電源：DC 12V　消費電力：11.8 W（AW-E650）、11.3 W（AW-E350）

▭は安全項目です。

	AW-E650	AW-E350
光学系	1/2 型プリズム　F1.4	1/3 型プリズム　F1.4
撮像素子	1/2 型・インターライン型 CCD	1/3 型・インターライン型 CCD
有効画素数	768 × 494（約 38 万画素）	
総画素数	811 × 508（約 41 万画素）	
走査方式	走査線数　525 本　60 フィールド　30 フレーム	
同期方式	内部同期　EIA 標準／外部同期　BBS または VBS（BNC×1、Dsub 50P×1）	
映像出力	コンポジット：1.0 V [p-p]/75 Ω（BNC×1、Dsub 50P×1） Y/C　Y:1.0 V [p-p]/75 Ω、C:0.286 V [p-p]/75 Ω（バースト）（Dsub 50P×1） Y/Pr/Pb　Y：1 V [p-p]/75 Ω、Pr、Pb：0.7 V [p-p]/75 Ω（Dsub 50P×1） RGB　G：1 V [p-p]/75 Ω、RB：0.7 V [p-p]/75 Ω（Dsub 50P×1）	
標準照度・色温度	2,000 lx（F14、3,200K）	2,000 lx（F9.5、3,200K）
最低照度	0.00005 lx F1.4、NightEye、デジタル 30 dB 蓄積 2s 出力 70 % 以上	0.00015 lx F1.4、NightEye、デジタル 30 dB 蓄積 2s 出力 70 % 以上
S/N 比	67 dB（Y 信号、DTL OFF、DNR ON）	66 dB（Y 信号、DTL OFF、DNR ON）
水平解像度	850TV 本（Hi Band DTL ON、中心部）	
レジストレーション	0.05 %（全画面　ただし、レンズの影響は除く）	
幾何学歪	0 %	
輪郭補正	水平、垂直（2H）	
ホワイトバランス	AWC A、AWC B（R/B ゲイン、ペインティング）、ATW、3,200K、5,600K プリセット	
ブラックバランス	オート（R/B ペデスタル　ペインティング機能）	
クロマ量可変	7 段階可変	
エンコード方式	OFF、Low、High	
ゲイン切替	0 ～ 30 dB ステップ、AGC、ナイトアイ L/H	0 ～ 30 dB ステップ、AGC、ナイトアイ
電子シャッター	1/100、1/250、1/500、1/1000、1/2000、1/4000、1/10000 ELC、シンクロスキャン（60.34 Hz ～ 15.75 KHz）	
CCD 読み出し切換	フィールド、フレーム 1、フレーム 2	
カラーバー	SMPTE	
レンズマウント	1/2 型バヨネットマウント	1/3 型 C マウント
レンズ絞り	オート、マニュアル（マニュアルはリモコン時のみ）アジャスト ON/OFF	
内蔵フィルター	---	
切換スイッチ	MENU（↑） ITEM/AWC（↓）（AWC：メニュー画面を出していないとき） YES/ABC（+）（ABC：メニュー画面を出していないとき） NO/BAR（-）（BAR：メニュー画面を出していないとき）	
入出力コネクター	VIDEO OUT BNC コネクター G/L IN BNC コネクター IRIS 12P 丸型コネクター DC12V IN DC コネクター I/F REMOTE 50P Dsub コネクター	
表示	赤色 LED　点灯：POWER ON	
許容温度	保存温度　-20 ℃～ +60 ℃ 性能保証温度　+5 ℃～ 35 ℃ 動作保証温度　-10 ℃～ +45 ℃	
許容湿度	保存　20 %～ 90 % 動作　20 %～ 90 %	
寸法（幅×高さ×奥行き）	84 × 77 × 177 mm	84 × 77 × 156 mm
質量	0.92 kg	0.77 kg

保証とアフターサービス（よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 8年

当社は、このコンバーチブルカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	コンバーチブルカメラ
品番	AW-E750/AW-E655/AW-E650/AW-E350
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に

- **保証期間中は**

  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**

  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
  下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**

  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

  部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

  出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

Memo

パナソニック株式会社 プロフェッショナルAVビジネスユニット
〒 571-8503　大阪府門真市松葉町 2 番 15 号　☎ (06) 6901ー1161

© Panasonic Corporation 2011